



目次

- 1. 改訂情報
- 2. はじめに
 - 2.1. 本書の目的
 - 2.2. 前提条件
 - 2.3. 対象読者
 - 2.4. 用語解説
- 3. 概要
 - 3.1. 言語情報の構成
 - 3.2. 言語を追加する手順
- 4. 追加する言語資材の洗い出し
 - 4.1. モジュール共通の言語情報の洗い出し
- 5. 追加する言語情報の作成（翻訳作業と言語の追加設定）
 - 5.1. モジュール共通の言語ファイルの翻訳
 - 5.2. モジュール固有の言語情報の洗い出し・設定の追加
 - 5.3. ロケールIDの変更
 - 5.4. ファイル名の変更
- 6. ユーザモジュールの作成
 - 6.1. 追加する言語資材のモジュール化
- 7. 追加する言語資材のセットアップ
 - 7.1. テナント環境セットアップの実施
 - 7.2. 各種マスタ登録（IM-Workflowを利用する場合）
 - 7.3. ベクトルデータベースのテキスト格納先の追加
- 8. 動作確認
 - 8.1. 追加する言語が intra-mart Accel Platform のロケールとして反映されているかの確認
 - 8.2. 追加する言語（ロケール）に変更し各画面内のメッセージ・マスタ情報が追加した言語で表示されているかの確認
- 9. 付録
 - 9.1. モジュールプロジェクト（サンプル）の利用

改訂情報

変更年月日	変更内容
2014-02-21	初版
2014-04-01	第2版 下記を追加・変更しました <ul style="list-style-type: none"> 「【オプション】「ワークフロー管理者」がメンテナンスする設定ファイルの追加」から、システムパラメータ(param_system.xml)に関する記述を削除 「前提条件」に Resin に関する説明を追加
2014-08-01	第3版 下記を追加・変更しました <ul style="list-style-type: none"> 「各種マスタ登録 (IM-Workflowを利用する場合)」に多言語環境で必要なマスタデータに関する説明を追加
2015-04-01	第4版 下記を追加・変更しました <ul style="list-style-type: none"> TERASOLUNA Global FrameworkをTERASOLUNA Server Framework for Java (5.x) に変更 「TERASOLUNA Server Framework for Java (5.x)」にhibernate-validatorに新しい言語のプロパティファイルを追加する記述を変更しました。hibernate-validator.jarの場所を %RESIN_HOME%/lib から %CONTEXT_PATH%/WEB-INF/lib に変更しています。
2015-08-01	第5版 下記を追加・変更しました <ul style="list-style-type: none"> 「IM-FileExchange (ファイル共有機能)」に「ダウンロードパスワード通知メールのメールテンプレートの設定」を追加
2016-12-01	第6版 下記を追加・変更しました <ul style="list-style-type: none"> 「IM共通マスタ」にキーワード検索用XMLファイルに関する記述を追加
2017-08-01	第7版 下記を変更しました <ul style="list-style-type: none"> 「IM共通マスタ」のキーワード検索用XMLファイルに関する記述を変更
2020-12-01	第8版 下記を追加しました <ul style="list-style-type: none"> 「モジュール共通の言語情報の洗い出し」に「IM-Repositoryインポート資材」を追加
2024-10-01	第9版 下記を追加しました <ul style="list-style-type: none"> 「ベクトルデータベースのテキスト格納先の追加」を追加
2025-06-30	第10版 下記を追加・変更しました <ul style="list-style-type: none"> 「はじめに」に前提条件などを追加 「IM-FileExchange (ファイル共有機能)」にファイルダウンロード通知メールに関する説明を追加 「IMBox」のメールテンプレートファイルに未記載のファイルを追加
2025-10-01	第11版 下記を変更しました <ul style="list-style-type: none"> 「TERASOLUNA Server Framework for Java (5.x)」の hibernate-validator.jar に記載されているバージョン情報を削除 「ViewCreator」にテーブル定義に関する記述を追加 「TableMaintenance」を追加

はじめに

本書の目的

intra-mart Accel Platform は日本語・英語・中国語（簡体字）が標準で搭載されています。
本書では、新たに別の言語を追加するための基本的な手順を説明します。

説明範囲は以下のとおりです。

- 言語に必要な資材（メッセージ・データ等）の概要説明
- 各モジュールにおける言語の追加に必要な資材の洗い出しの手順
- 追加する言語情報をユーザモジュールとしてセットアップする手順

前提条件

- 言語の追加は、カスタマイズに相当します。

本書は言語の基礎情報の設定・各モジュールで必要とする言語情報の洗い出し方法の説明と、
言語分の情報をユーザモジュールとしてセットアップする手順をまとめたものです。
原則として、intra-mart Accel Platform がサポートしている言語は、日本語、英語、中国語（簡体字）です。
言語の追加は、カスタマイズに相当します。

- アップデートバージョンによって言語に必要な言語資材の内容が変わります。

本書は言語を追加するための手順を示すものであり、
intra-mart Accel Platform の各アップデート毎に応じた詳細な言語資材を示しているドキュメントではありません。
言語の追加対象となる intra-mart Accel Platform のアップデートバージョンを特定し、
そこから、下記に説明する言語情報の洗い出しを行う必要があります。

- 一部Jarファイル内に含まれている言語メッセージは、本書の対象外です。

intra-mart Accel Platform のエンジン部分のモジュール内にJarファイルが含まれています。
これらのJarファイル内に言語メッセージが含まれているものがあります。
通常利用される言語情報ではないため、本書の対象外としています。

- 本書は Resin を対象とした説明です。

Resin 以外の Web Application Server は対象外です。

- IM-BloomMaker の以下の機能は対象外です。

- ・ デザイナ画面（デベロッパモード、レイアウトモード）
- ・ デバッグツール
- ・ 設計書出力

- Accel Studio の以下の機能は対象外です。

- ・ Accel Studioテンプレートに関連する機能
- ・ エンティティ新規作成画面

- intra-mart Accel Documents の以下の機能は対象外です。

- ・ キャビネット・ドロワ・フォルダのロケール表示切替機能
- ・ 各種定義項目（属性定義、クラス定義、メニュー表示設定、一覧表示設定、セキュリティ定義、保管定義）の名称・説明の多言語入力



コラム

詳細に関しては、「[intra-mart Accel Documents 2025 Spring リリースノート](#)」を参照してください。

- **IM-Spreadsheet** の以下の機能は対象外です。
 - ・ SpreadJSのUI表示（スプレッドシート内のドロップダウンメニュー、ダイアログ、リボンコンテナなど）
- Accel Platform Mobile は対象外です。

対象読者

本書では次の利用者を対象としています。

- ・ 標準言語（日本語・英語・中国語（簡体字））以外の言語を追加したい利用者

用語解説

PublicStorage として使用するディレクトリを %PUBLIC_STORAGE_PATH% と略します。

概要

intra-mart Accel Platform における言語情報の構成と言語を追加する手順を説明します。

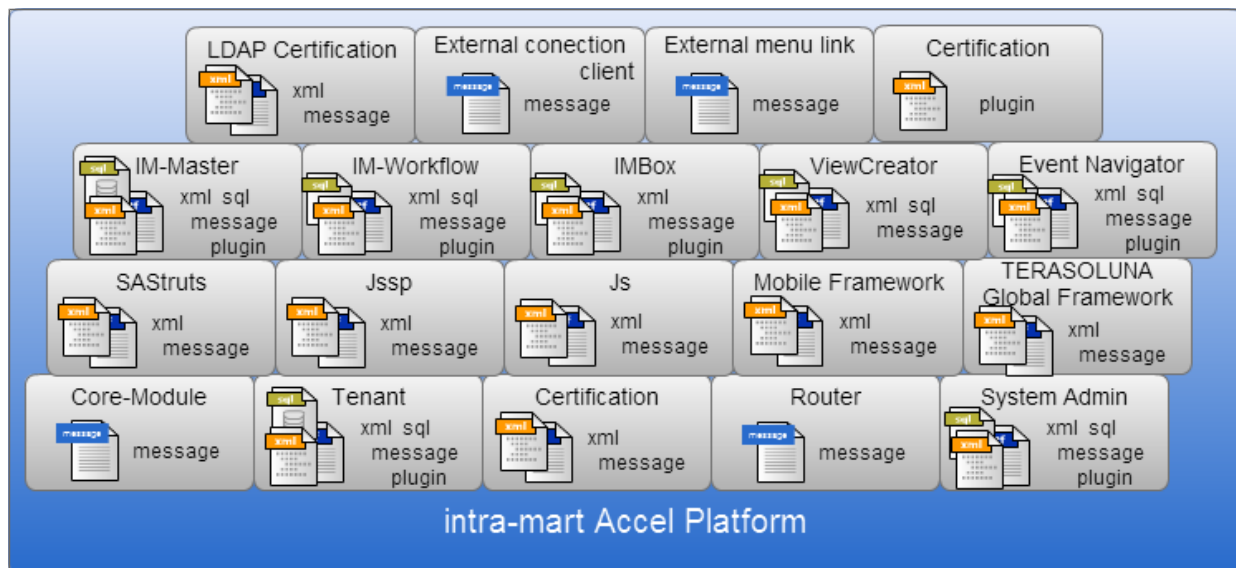
項目

- 言語情報の構成
- 言語を追加する手順

言語情報の構成

intra-mart Accel Platform はさまざまなモジュール群から構成されています。

モジュール単位で、各種の言語情報を保持しています。



注意

モジュール構成とモジュール内で定義されている言語情報はイメージです。
実際のモジュール構成および、モジュール内で定義されている言語情報は異なります。

言語を追加する手順

intra-mart Accel Platform における言語を追加する手順は次の通りです。

追加する言語資材の洗い出し

注意

言語を追加して構築する intra-mart Accel Platform のアップデートバージョンと同じバージョンの環境に対して、
言語情報の洗い出しを行う必要があります。

コラム

本書では、デプロイ先の Resin 環境下の日本語 (ja) の言語情報ファイルを対象として洗い出しを行います。
日本語 (ja) の言語情報ファイルをコピーして追加する言語用のファイルを準備します。

モジュール共通の言語情報の洗い出し

モジュール共有で言語情報として設定されているメッセージファイル・インポートファイルを洗い出します。

メッセージファイルの洗い出し

画面上のラベル、メッセージ、サーバ上のログとして出力される言語情報が設定されているファイルです。

■ メッセージ

```
%RESIN_HOME% /webapps/ %コンテキストパス% /WEB-INF/conf/message ディレクトリ配下
・ caption_ja.properties
・ log-message_ja.properties
・ message_ja.properties
・ その他、拡張子が「properties」となっている日本語（ja）の言語情報ファイル
```

■ プラグイン用メッセージ

```
%RESIN_HOME% /webapps/ %コンテキストパス% /WEB-INF/plugin ディレクトリ配下
・ plugin_ja.properties
```

インポート設定ファイル（XMLファイル / SQLファイル）の洗い出し

テナント環境セットアップ時に実行されるインポートの言語情報が設定されているファイルです。

■ XMLファイル

```
%RESIN_HOME% /webapps/ %コンテキストパス% /WEB-INF/storage/system/products/import/basic ディレクトリ配下
・ %モジュールID% / %任意の名称% _ja.xml
```

■ SQLファイル

```
%RESIN_HOME% /webapps/ %コンテキストパス% /WEB-INF/storage/system/products/import/basic ディレクトリ配下
・ %モジュールID% / %任意の名称% _ja.sql
```

IM-Repositoryインポート資材

IM-Repository機能はSQLファイル内に3言語分のインポート資材が含まれています。

```
%RESIN_HOME% /webapps/ %コンテキストパス% /WEB-INF/storage/system/products/import/basic/im_repository/im_repository-dml_%データベース種別%.sql
```

- 追加対象となる intra-mart Accel Platform のバージョンに対して、言語資材の洗い出しを行います。

追加する言語情報の作成（翻訳作業と言語の追加設定）

「[モジュール共通の言語情報の洗い出し](#)」と、「[モジュール固有の言語情報の洗い出し・設定の追加](#)」の一部において、洗い出した言語資材のファイルに対して翻訳、ロケールIDの設定、ファイル名の設定を行います。

モジュール共通の言語ファイルの翻訳

洗い出した言語資材のファイルを元に追加する言語の翻訳を行います。

対象ファイル：全ファイル



コラム

本書では日本語（ja）の言語情報ファイルを対象として洗い出しをしているため、日本語から追加する言語（例として「ドイツ語」のロケール）へ翻訳します。

■変更前（日本語）

CAP.Z.IWP.SYSTEM.CERTIFICATION.COMMON.USERCODE=ユーザコード
CAP.Z.IWP.SYSTEM.CERTIFICATION.COMMON.PASSWORD=パスワード
CAP.Z.IWP.SYSTEM.CERTIFICATION.COMMON.LOGINBACK=ログイン画面へ戻る

■変更後（ドイツ語）

CAP.Z.IWP.SYSTEM.CERTIFICATION.COMMON.USERCODE=Benutzercode
CAP.Z.IWP.SYSTEM.CERTIFICATION.COMMON.PASSWORD=Passwort
CAP.Z.IWP.SYSTEM.CERTIFICATION.COMMON.LOGINBACK=Ich komme zu einem login-Bildschirm zurück

モジュール固有の言語情報の洗い出し・設定の追加

モジュール別の言語情報の追加する言語の設定を行います。

国際化機能

「モジュール固有の言語情報」として、国際化機能（im_tenant）モジュール内の固有の言語情報を設定します。
【オプション】と表記されている言語情報については、利用用途に応じて洗い出し対象に含めるかについてご検討ください。

項目

- [ロケールマスタへの定義追加](#)
- [タイムゾーン地域名用メッセージの追加](#)
- [【オプション】追加する言語に応じたカレンダーIDの追加](#)
- [【オプション】日付と時刻の形式マスタの追加](#)

ロケールマスタへの定義追加

- 追加する言語を、intra-mart Accel Platform のロケール定義として追加します。
1. %RESIN_HOME% /webapps/ %コンテキストパス% /WEB-INF/conf/locale-config/im-locale-default.xml
を参考に追加する言語用のファイルを作成します。次のように定義します。

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<locale-config
  xmlns="http://intra_mart.co.jp/system/i18n/locale/config/locale-config"
  xmlns:xsi="http://www.w3.org/2001/XMLSchema-instance"
  xsi:schemaLocation="http://intra_mart.co.jp/system/i18n/locale/config/locale-config locale-config.xsd">
  <locale name="de">
    <encoding-name>UTF-8</encoding-name>
  </locale>
</locale-config>
```

2. 作成したファイル名は既存のものと重複しないファイル名にします。

```
im-locale-de.xml
```

タイムゾーン地域名用メッセージの追加

- 追加する言語のタイムゾーン地域名用メッセージを追加します。

```
%RESIN_HOME% /webapps/ %コンテキストパス% /WEB-INF/conf/message/platform/i18n/timezone/region ディレクトリ
・caption_ja.properties
```




コラム

言語とタイムゾーンは直接関連するものではないため、本書ではタイムゾーン自体に関する説明は割愛しています。

【オプション】追加する言語に応じたカレンダーIDの追加

- 新しくテナントを構築し初回のテナント環境セットアップを実行時に、選択した言語（ロケール）に応じたカレンダーをテナントが持つカレンダーとして設定します。



コラム

言語（ロケール）とカレンダーの設定を行った場合、次のような動作が可能となります。

例：

まず前提条件として、

運用開始前に新しい言語として「ドイツ語」、この言語に応じたカレンダーとして「英語」のカレンダーIDを設定します。

テナント環境セットアップにおいて、テナントのロケールを「ドイツ語」として選択し実行します。

その後の運用において、一般ユーザ自身のロケールが設定されていなかった場合、一般ユーザがカレンダーを参照すると、このロケール（「ドイツ語」）に応じたカレンダーが表示されます。テナントのロケールとなる「ドイツ語」が適用されます。



注意

運用開始後に言語を追加する場合には、無効な設定となります（対応の必要はありません）。

1. 次のファイルを編集します。

```
%RESIN_HOME% /webapps/ %コンテキストパス% /WEB-INF/jssp/platform/src/system/initialsettings/ajax ディレクトリ
・ admin_and_tenant_register.js
```

2. L.31 に追加する言語に対応するカレンダーIDを設定します。



コラム

本書では「ドイツ語」カレンダーは作成しません。

したが以下例では、「ドイツ語」のロケールに対し既存のカレンダーである「英語カレンダー」を追加します。

```
function getDefaultTenantInfoByLocale(locale) {
// ロケールに応じたカレンダーIDを取得
let calendarId = ({
  'ja': 'JPN_CAL',
  'en': 'USA_CAL',
  'zh_CN': 'PRC_CAL'
  'de': 'USA_CAL'
})[locale];
```

3. 編集したファイルを任意のディレクトリに保存します。このファイルは、後の章でユーザモジュールとして組み込みます。

【オプション】日付と時刻の形式マスタの追加

- 追加する言語のフォーマットセット設定を行います。

**注意**

日時表示形式はフォーマットセットという単位で扱います。
 フォーマットセットは intra-mart Accel Platform の初期状態では各言語ごとに1つずつ設定されています。
 追加する言語に対してのフォーマットセットの追加を行う場合、次の設定ファイルに対して追加の設定が必要となります。

```
%RESIN_HOME% /webapps/ %コンテキストパス% /WEB-INF/conf/date-time-format-config ディレクトリ
・ im-date-time-format-config_ja.xml
```

1. 追加する言語に対応するフォーマットセットを追加します。

```
%RESIN_HOME% /webapps/ %コンテキストパス% /WEB-INF/conf/date-time-format-config ディレクトリ
・ im-date-time-format-config_ja.xml
```

2. メニュー「テナント管理」-「テナント情報」-「日付と時刻の形式」設定画面において「形式の切り替え」のフォーマットセットを
 選択するプルダウンとして表示するキャプションを各言語ファイルに対し設定します。
 ※im-date-time-format-config_ja.xmlファイルに、ドイツ形式のフォーマットセットを追加する場合

```
### Format set name ###
CAP.Z.IWP.I18N.DATETIMEFORMAT.SET.EN.BASE=英語形式
CAP.Z.IWP.I18N.DATETIMEFORMAT.SET.JA.BASE=日本語形式
CAP.Z.IWP.I18N.DATETIMEFORMAT.SET.ZHCN.BASE=中国語（簡体字）形式
CAP.Z.IWP.I18N.DATETIMEFORMAT.SET.DE.BASE=ドイツ形式
```

UI基本

「モジュール固有の言語情報」として、UI基本（im_ui）モジュール内の固有の言語情報を設定します。

項目

- UI部品共通
 - メッセージファイル（標準ファイル）の追加
 - メッセージファイル（最小化ファイル）の追加
- リッチテキストボックス
 - TinyMCE 言語ファイルの追加

UI部品共通**メッセージファイル（標準ファイル）の追加**

- 追加する言語分のメッセージに置き換えます。

```
%RESIN_HOME% /webapps/ %コンテキストパス% /ui/js/i18n ディレクトリ
・ imui-ja.js
```

メッセージファイル（最小化ファイル）の追加

- 追加する言語分のメッセージに置き換えます。

```
%RESIN_HOME% /webapps/ %コンテキストパス% /ui/js/i18n ディレクトリ
・ ui/js/i18n/imui-ja.min.js
```

リッチテキストボックス**TinyMCE 言語ファイルの追加**

- 追加する言語分のメッセージに置き換えます。

```
%RESIN_HOME% /webapps/ %コンテキストパス% /csjs/libs/tinymce/js/tinymce/langs ディレクトリ
・ ja.js
```



コラム

リッチテキストボックスで追加の言語を有効にするには、モジュール共通のメッセージファイル内に、対象言語のロケールIDが定義されている必要があります。
以下の点を事前にご確認ください。

- ・ 該当するメッセージファイルが作成されていること

```
%RESIN_HOME% /webapps/ %コンテキストパス% /WEB-INF/conf/message/platform/i18n/locale ディレクトリ
・ caption_${追加する言語のロケールID}.properties
```

- ・ メッセージファイル内に、追加したい言語のロケールIDが正しく定義されていること

```
CAP.Z.IWP.UI.TAG.RICHTEXTBOX.SCRIPT.LANGUAGE.CODE=${追加する言語のロケールID}
```

メールモジュール

「**モジュール固有の言語情報**」として、メールモジュール（im_javamail）モジュール内の固有の言語情報を設定します。

項目

- [メール送信時の文字コードの設定](#)

メール送信時の文字コードの設定

- 追加する言語分のメッセージに置き換えます。

```
%RESIN_HOME% /webapps/ %コンテキストパス% /WEB-INF/conf/javamail-config ディレクトリ
・ javamail-config_ja.xml
```

パスワードリマインダ

「**モジュール固有の言語情報**」として、パスワードリマインダ（im_password_reminder）モジュール内の固有の言語情報を設定します。

項目

- [リマインダメールのメールテンプレートの設定](#)

リマインダメールのメールテンプレートの設定

- 追加する言語分のメッセージに置き換えます。

```
%RESIN_HOME% /webapps/ %コンテキストパス% /WEB-INF/conf/mail_template ディレクトリ
・ password_reminder_ja.xml
```

TERASOLUNA Server Framework for Java (5.x)

「**モジュール固有の言語情報**」として、TERASOLUNA Server Framework for Java (5.x)（im_framework_tgfw）モジュール内の固有の言語情報を設定します。

項目

- [hibernate-validatorで使用するメッセージファイルの設定](#)

hibernate-validatorで使用するメッセージファイルの設定

- %CONTEXT_PATH%/WEB-INF/lib/hibernate-validator-*.jar に言語資材（メッセージプロパティファイル）が含まれています。

```
/org/hibernate/validator/ValidationMessages_ %ロケールID% .properties
```



コラム

TERASOLUNA Server Framework for Java (5.x) for Accel Platformに同梱されている**hibernate-validator.jar**には、次の言語情報が含まれています。

```
cs (チェコ語)
de (ドイツ語)
en (英語)
es (スペイン語)
fr (フランス語)
hu (ハンガリー語)
ko (韓国語)
mn_MN (モンゴル語 [モンゴル])
pt_BR (ポルトガル語 [ブラジル])
tr (トルコ語)
zh_CN (中国語 [中華人民共和国])
```

日本語 (ja) のメッセージプロパティファイルは含まれていないため、製品では **im_tgfw_common** モジュールにて提供されています。

言語を追加する場合、**hibernate-validator.jar** の中に対応する言語のプロパティファイルが存在するかを確認し、存在していなければ

ロケールサフィックスを付与したメッセージプロパティファイルを追加する必要があるため、このファイルを言語資材として洗い出します。

```
/org/hibernate/validator/ValidationMessages_ja.properties
```

IM-Mobile Framework

「**モジュール固有の言語情報**」として、IM-Mobile Framework (im_mobile_framework) モジュール内の固有の言語情報を設定します。

項目

- [メッセージファイル（標準ファイル）の追加](#)
- [メッセージファイル（最小化ファイル）の追加](#)

メッセージファイル（標準ファイル）の追加

- 追加する言語分のメッセージに置き換えます。

```
%RESIN_HOME% /webapps/ %コンテキストパス% /smart/js/i18n ディレクトリ
・ smart-ja.js
```

メッセージファイル（最小化ファイル）の追加

- 追加する言語分のメッセージに置き換えます。

```
%RESIN_HOME% /webapps/ %コンテキストパス% /smart/js/i18n ディレクトリ
・ smart/js/i18n/smart-ja.min.js
```

IM-FileExchange（ファイル共有機能）

「**モジュール固有の言語情報**」として、IM-FileExchange (im_file_exchange) モジュール内の固有の言語情報を設定します。

項目

- ファイルアップロード通知メールのメールテンプレートの設定
- ダウンロードパスワード通知メールのメールテンプレートの設定
- ファイルダウンロード通知メールのメールテンプレートの設定

ファイルアップロード通知メールのメールテンプレートの設定

- 追加する言語分のメッセージに置き換えます。

```
%RESIN_HOME% /webapps/ %コンテキストパス% /WEB-INF/conf/mail_template/file_exchange ディレクトリ
・ upload_notice_ja.xml
```

ダウンロードパスワード通知メールのメールテンプレートの設定

- 追加する言語分のメッセージに置き換えます。

```
%RESIN_HOME% /webapps/ %コンテキストパス% /WEB-INF/conf/mail_template/file_exchange ディレクトリ
・ download_password_notice_ja.xml
```

ファイルダウンロード通知メールのメールテンプレートの設定

- 追加する言語分のメッセージに置き換えます。

```
%RESIN_HOME% /webapps/ %コンテキストパス% /WEB-INF/conf/mail_template/file_exchange ディレクトリ
・ download_notice_ja.xml
```

IM共通マスタ

「モジュール固有の言語情報」として、IM共通マスタ（im_master）モジュール内の固有の言語情報を設定します。

項目

- 【オプション】 共通検索のキーワード検索用XMLファイルの設定

【オプション】 共通検索のキーワード検索用XMLファイルの設定

- 日本語ロケール時のキーワード検索を、追加する言語用に設定します。

ユーザ検索

検索基準日: 2014/02/10 ロケール: 日本語 ☐ : 有効なもののみ表示

キーワード

検索キーワードを入力してください。

☒ 名前 ☒ コード ☒ フリガナ

☒ 前方一致 ☐ 完全一致 ☐ 部分一致

検索

あ行	あ	い	う	え	お
か行	か	き	く	け	こ
さ行	さ	し	す	せ	そ
た行	た	ち	つ	て	と
な行	な	に	ぬ	ね	の
は行	は	ひ	ふ	へ	ほ
ま行	ま	み	む	め	も
や行	や		ゆ		よ
ら行	ら	り	る	れ	ろ
わ行	わ				

決定

i コラム

この設定を行わない場合、次のような検索画面が表示されます。

User search

Search reference date: 2014/02/10 Locale: English ☐ : Display valid items only

Keyword

Enter the search keyword.

☒ Name ☒ Code ☒ Name to search

☒ Prefix match ☐ Perfect match

☐ Partial match

Search

Select

明示的に追加する言語用の設定を行った場合、次のような検索画面が表示されます。

User search

Search reference date: 2014/02/11 Locale: English ☐ : Display valid items only

Keyword

Enter the search keyword.

☒ Name ☒ Code ☒ Name to search

☒ Prefix match ☐ Perfect match

☐ Partial match

Search

Q	W	E	R	T	Y	U	I	O	P
A	S	D	F	G	H	J	K	L	
Z	X	C	V	B	N	M			

Select



注意

追加した言語のIM共通マスタのプロファイル情報が設定されていないと検索できません。

- 追加する言語用に設定を行う場合、追加する言語分のメッセージに置き換えます。

```
%RESIN_HOME% /webapps/ %コンテキストパス% /WEB-INF/storage/public/im_master/search/ ディレクトリ
・ initial_ja.xml
```



注意

2017 Spring(Portland) 以前のバージョンでは、正しく検索が行われない可能性があります。
以下の設定を行うことで事象を回避できます。

initial_ja.zip のダウンロード・解凍を行い、下記のフォルダにinitial_ja.xmlを配置します。
%PUBLIC_STORAGE_PATH%/public/storage/default/im_master/search

IM-Workflow

「モジュール固有の言語情報」として、IM-Workflow (im_workflow) モジュール内の固有の言語情報を設定します。
【オプション】と表記されている言語情報については、利用用途に応じて洗い出し対象に含めるかについてご検討ください。

項目

- メールテンプレートファイルの追加
- IMBoxメッセージテンプレートファイルの追加
- 【オプション】「ワークフロー管理者」がメンテナンスする設定ファイルの追加



コラム

本書では日本語 (ja) の言語情報ファイルを対象として洗い出しを行います。

メールテンプレートファイルの追加

- 追加する言語分のメッセージに置き換えます。

```
%RESIN_HOME% /webapps/ %コンテキストパス% /WEB-INF/storage/system/products/import/basic/im_workflow/template/mail ディレクトリ
・ act_ja.xml
・ autopress_ja.xml
・ confirm_ja.xml
・ negotiation_ja.xml
・ processing_ja.xml
・ reference_ja.xml
・ result_ja.xml
・ transfer_ja.xml
```

IMBoxメッセージテンプレートファイルの追加

- 追加する言語分のメッセージに置き換えます。

```
%RESIN_HOME% /webapps/ %コンテキストパス% /WEB-INF/storage/system/products/import/basic/im_workflow/template/imbox ディレクトリ
・ act_ja.xml
・ autopress_ja.xml
・ confirm_ja.xml
・ negotiation_ja.xml
・ processing_ja.xml
・ reference_ja.xml
・ result_ja.xml
・ transfer_ja.xml
```

【オプション】「ワークフロー管理者」がメンテナンスする設定ファイルの追加

- 「サイトマップ」- 「ワークフロー」- 「ワークフロー管理者」- 「ワークフローパラメータ」画面内に表示される各設定に対する説明について、必要に応じて追加する言語分のキャプションを追加します。

```
storage/system/products/import/basic/im_workflow/template/param/param_group.xml
storage/system/products/import/basic/im_workflow/template/param/param_stamp.xml
storage/system/products/import/basic/im_workflow/template/param/validate_group.xml
```

IMBox

「**モジュール固有の言語情報**」として、IMBox モジュール内の固有の言語情報を設定します。

項目

- メールテンプレートファイル



コラム

本書では日本語（ja）の言語情報ファイルを対象として洗い出しを行います。

メールテンプレートファイル

- 追加する言語分のメッセージに置き換えます。

```
%RESIN_HOME% /webapps/ %コンテキストパス% /WEB-INF/conf/mail_template/jp.co.intra_mart.imbox/group ディレクトリ
```

- ・ add_group_member_ja.xml
- ・ add_owner_ship_ja.xml
- ・ approve_join_ja.xml
- ・ deny_join_ja.xml
- ・ edit_group_ja.xml
- ・ remove_group_ja.xml
- ・ remove_membership_ja.xml
- ・ send_invitation_ja.xml

```
%RESIN_HOME% /webapps/ %コンテキストパス% /WEB-INF/conf/mail_template/jp.co.intra_mart.imbox/message ディレクトリ
```

- ・ direct_message_ja.xml
- ・ edit_direct_message_ja.xml
- ・ edit_mybox_ja.xml
- ・ edit_notice_ja.xml
- ・ edit_reply_ja.xml
- ・ follow_ja.xml
- ・ like_ja.xml
- ・ new_mybox_ja.xml
- ・ notice_ja.xml
- ・ remove_message_ja.xml
- ・ reply_ja.xml
- ・ send_me_ja.xml

```
%RESIN_HOME% /webapps/ %コンテキストパス% /WEB-INF/conf/mail_template/jp.co.intra_mart.imbox/owner ディレクトリ
```

- ・ join_ja.xml
- ・ leave_ja.xml
- ・ request_join_ja.xml

ViewCreator

「**モジュール固有の言語情報**」として、ViewCreator（viewcreator）モジュール内の固有の言語情報を設定します。

項目

- [【オプション】ViewCreator固有の日付フォーマット設定](#)
- [【オプション】テーブル定義の追加](#)
 - [テーブル定義の追加方法](#)

【オプション】ViewCreator固有の日付フォーマット設定

- 追加する言語の日付フォーマットを設定します。

```
%RESIN_HOME% /webapps/ %コンテキストパス% /WEB-INF/conf ディレクトリ
・ viewcreator-config.xml
```

【オプション】テーブル定義の追加

ViewCreatorでは、テーブル定義（テーブルの論理名と説明、カラムの論理名と説明）を画面表示や「[SQLビルダ アシスタント](#)」でのSQL生成時に使用します。

テーブル定義の追加方法

- 追加する言語のテーブル定義を設定します。具体的な設定手順は、「[テーブルの拡張情報の設定](#)」を参照してください。

ロケールIDの変更

言語資料の中にはロケールIDの指定が必要なものがあります。

洗い出した言語資料のファイル内にロケール指定が存在している場合、追加する言語のロケールIDに変更してください。

対象ファイル：メッセージファイル、XMLファイル、pluginファイルなど



コラム

本書では日本語（ja）の言語情報ファイルを対象として洗い出しをしているため、日本語から追加する言語（例として「ドイツ語」のロケール）へ変更します。

■変更前（日本語）

```
<name locale="ja">ユーザコード</name>
```

■変更後（ドイツ語）

```
<name locale="de">Benutzercode</name>
```

ファイル名の変更

言語資料の中にはロケールIDをファイル名として設定する必要があります。

洗い出した言語資料のファイル名にロケール指定が存在している場合、追加する言語のロケールIDに変更してください。

対象ファイル：メッセージプロパティファイル、Storage配下のインポート資料、pluginファイルなど



コラム

本書では日本語（ja）の言語情報ファイルを対象として洗い出しをしているため、日本語から追加する言語（例として「ドイツ語」のロケール）へ変更します。

■変更前（日本語）

```
caption_ja.properties
```

■変更後（ドイツ語）

```
caption_de.properties
```

- 洗い出した言語資料に対して、翻訳を実施します。

ユーザモジュールの作成

「[モジュール共通の言語情報の洗い出し](#)」より、追加する言語情報を作成します。

追加する言語資料のモジュール化

翻訳した言語資料を「ユーザモジュール」として作成します。

ここでは、データベース等へのマスタ投入（テナント環境セットアップ）を行うためのインポート設定ファイルも作成します。

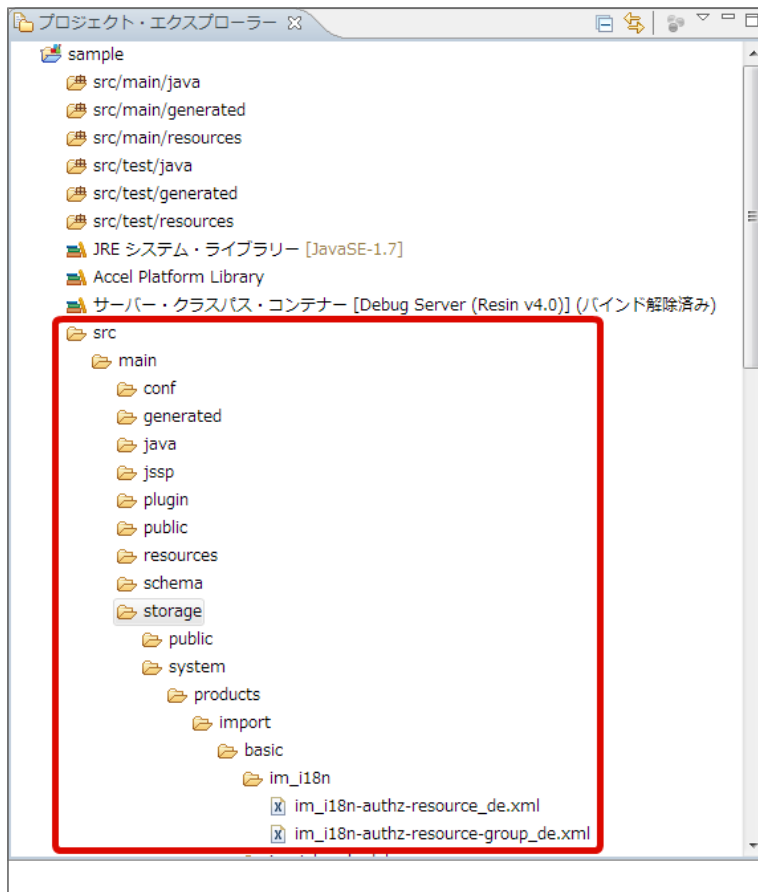
1. e Builder で追加言語用のモジュールのプロジェクトを作成します。



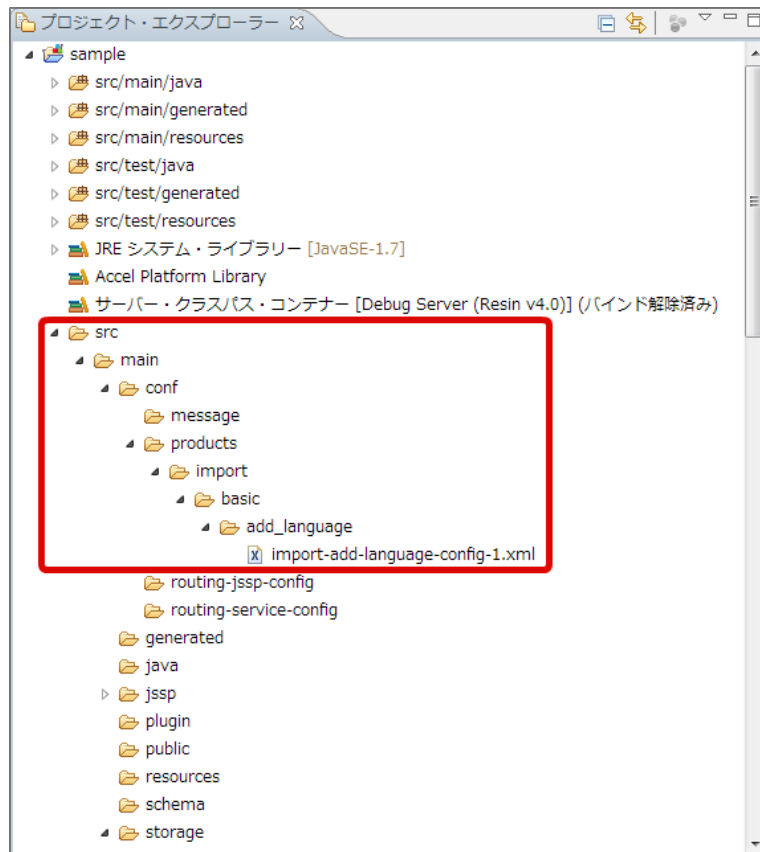
コラム

e Builder におけるモジュールの作成方法の基本操作については、「[Intra-mart e Builder for Accel Platform アプリケーション開発ガイド](#)」-「[モジュール・プロジェクト作成](#)」を参照してください。

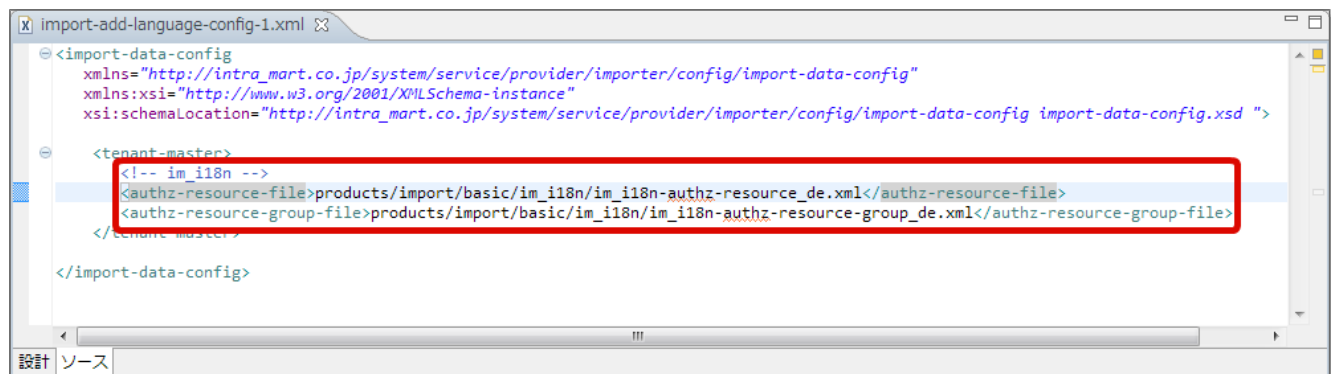
2. 前項で作成した **追加する言語ファイル** をインポート資料として配置します。
テナント環境セットアップ資料（SQLファイルやXMLファイル）の追加する言語ファイルをシステムストレージ「src/main/storage/system」配下の任意の位置へ配置します。



3. **インポート定義ファイル** を作成します。
「src/main/conf/products/import/basic/ %モジュールID% /import_%モジュールID% -config-1.xml」を作成します。



4. システムストレージに配置したファイルのパスを インポート定義ファイル に追加します。



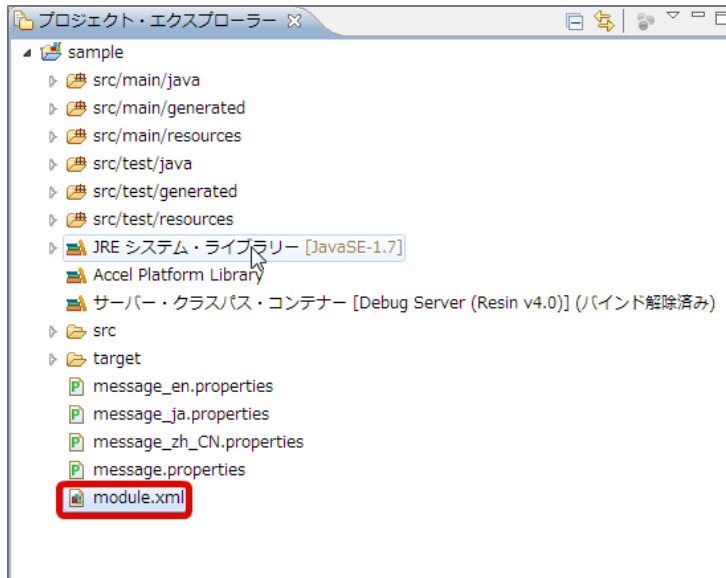
コラム

詳細は「テナント環境セットアップ 仕様書」-「テナント環境セットアップ」を参照してください。

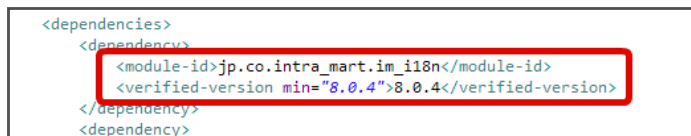
5. 依存関係を指定します。

注意

製品で提供されているモジュール内のファイルに対して設定を変更した場合、**module.xml** ファイルに依存関係を指定する必要があります。

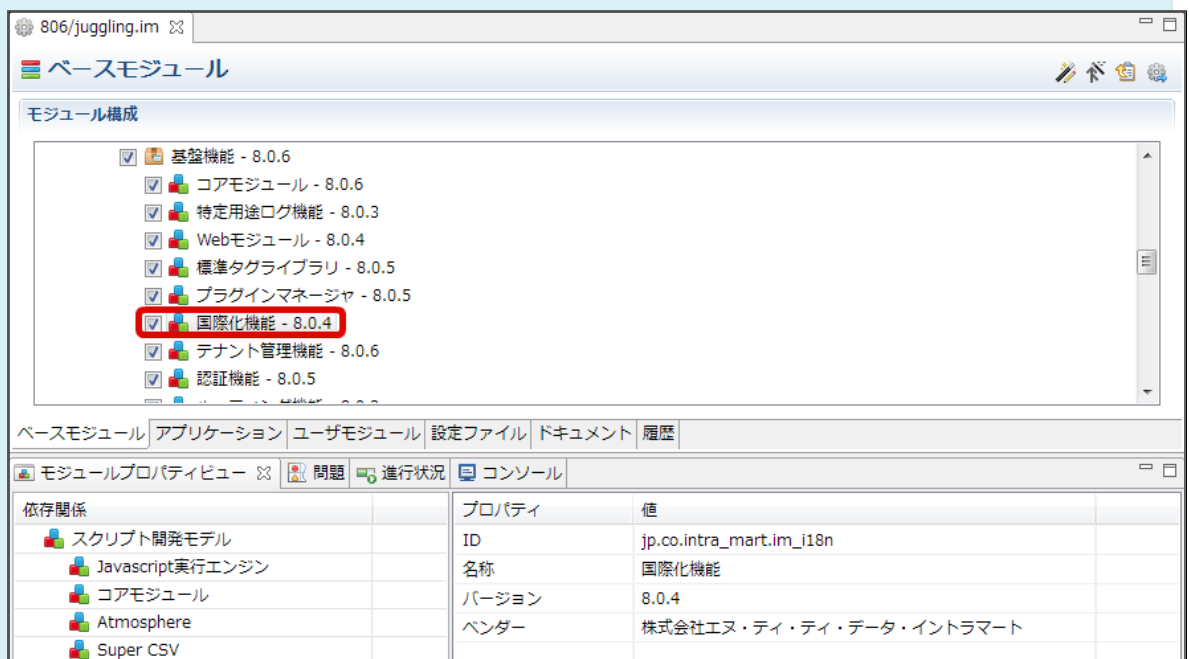


プロジェクト直下にある、**module.xml** を開き、次のように既存のモジュールのバージョンに対して、依存関係を指定します。



コラム

各モジュールのバージョンは、IM-Juggling 上から確認できます。



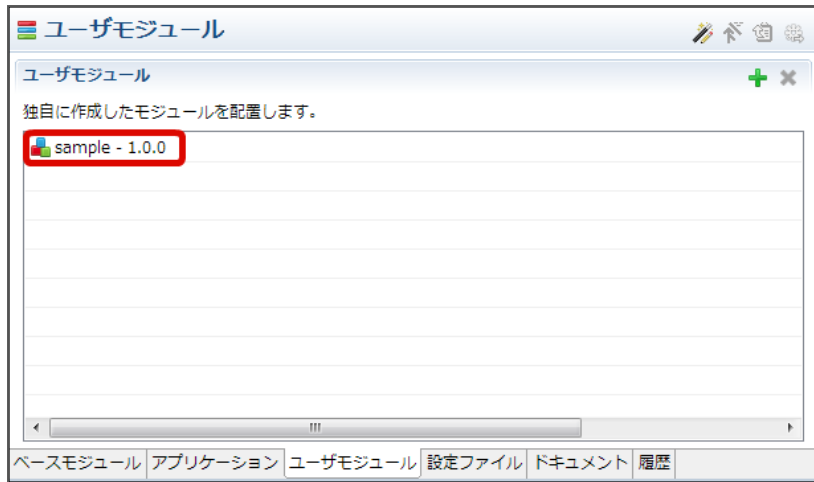
- ユーザモジュールを作成します。
ユーザモジュールを **immファイル** としてエクスポートします。



コラム

詳細は「intra-mart e Builder for Accel Platform アプリケーション開発ガイド」- 「intra-mart e Builder for Accel Platform アプリケーション開発ガイド / immファイルのエクスポート」を参照してください。

- 作成したユーザモジュール (**immファイル**) を IM-Juggling を利用し、
言語を追加したい環境のプロジェクトに追加し、**WARファイル** (または静的コンテンツ) を出力します。



i コラム

【補足】製品のアップデートによる差分の翻訳資材を反映させる場合

intra-mart Accel Platform のアップデートを行う場合、アップデートによって発生する差分データを初回で作成したユーザモジュールのアップデート（差分を作成）版として再利用する事が可能です。

！ 注意

前提として、前項で説明した翻訳資材の洗い出しについて、アップデート前後の差分を洗い出す必要があります。

1. 初回で作成したモジュール設定ファイル（module.xml）内のユーザモジュール自体のバージョンをインクリメントします。
例：“1” → “2”
2. 同モジュール設定ファイル（module.xml）内で既存モジュールへ依存関係を指定している場合、アップデートしたモジュールのバージョン番号に変更する必要があります。

！ 注意

前回実行したモジュールのバージョンのままとなっていると正常に動作しない可能性があります。

1. システムストレージ「src/main/storage/system」配下の任意の位置（既存のインポートファイルとは別のディレクトリ、ファイル名として配置）へ、追加する言語のアップデート（差分データ）分のテナント環境セットアップ資材（追加言語用のファイル）を追加します。
2. 差分追加用のインポート定義ファイルを作成します。
「src/main/conf/products/import/basic/{モジュールID}/{モジュールID}-config-2.xml」を作成します。
※（スキーマバージョンを“2”）として定義します。
3. システムストレージに配置したファイルのパスを 差分追加用のインポート定義ファイル に追加します。

上記を行う事で、追加する言語用の資材を1つのユーザモジュールとして管理する事が可能です。

製品版のテナント環境セットアップが完了した後に、追加する言語のユーザモジュールのみ後からセットアップすることも可能です。

- 翻訳した追加する言語資材をユーザモジュールとしてパッケージ化し、WARファイルを作成します。

追加する言語資材のセットアップ

テナント環境セットアップの実施

テナント環境セットアップを実行してユーザモジュール内の言語情報をインポートします。

WARファイルの再デプロイ

事前に前項で作成したWARファイルの再デプロイを行う必要があります。



コラム

再デプロイの方法については、
「[intra-mart Accel Platform セットアップガイド](#)」 - 「[WARファイルのアンデプロイ](#)」・「[WARファイルの再デプロイ](#)」を参照してください。

テナント環境セットアップの実施

Web Application Server を起動後、テナント環境セットアップを実施します。
製品のテナント環境セットアップが既に完了していない場合、または、完了している場合のどちらでも実行可能です。



コラム

詳細は「[intra-mart Accel Platform セットアップガイド](#)」 - 「[テナント環境セットアップ](#)」を参照してください。



注意

テナント環境セットアップ 途中でエラーが発生した場合、
前項で作成した **ユーザモジュール** の作成方法に誤りがある可能性があります。

次の点について確認をしてください。

- ・ **インポート定義ファイル** で設定したインポートファイルが存在していない。パスに誤りがある。
- ・ **XMLインポートファイル** ファイル内のスキーマ定義に誤りがある（存在しない要素を指定している）。
- ・ **XMLインポートファイル** ファイル内のロケールIDの指定に誤りがある。変更が漏れている。
- ・ **SQLファイル** ファイル内のSQL文に誤りがある。
- ・ その他については、「[intra-mart Accel Platform セットアップガイド](#)」 - 「[セットアップで困ったら・・・](#)」を参照してください。

各種マスタ登録（IM-Workflowを利用する場合）

IM-Workflowを利用する場合、次のマスタ登録画面より追加する言語データの登録が必要です。



注意

言語を追加する場合、次の2パターンに分かれます。

- intra-mart Accel Platform の初期構築と同時に言語を追加する場合
- 運用途中から言語を追加する場合

どちらの場合も、前項で説明したメッセージ、XMLファイル等の追加の他に、テナント環境セットアップ後に、各管理者画面から登録したユーザ・組織・ワークフローデータを追加する必要があります。

アクセスセキュリティ情報の補完

アクセスセキュリティ情報に対して、次のマスタデータに対し追加する言語データを追加登録する必要があります。

対象情報	項目
ロール ※1	表示名（国際）

※1. IM-Workflow のルート定義のノードに対して、処理対象者として設定している情報の場合、国際化情報設定は必須です。すべてのロールに対して国際化情報が登録されている状態での運用を推奨します。

上記項目の設定方法は以下の通りです。

1. 「サイトマップ」→「テナント管理」→「ロール」をクリックします。
2. ロール一覧で編集対象のロールの「編集」をクリックします。

ロール一覧

新規登録

検索条件にカテゴリとロール名を指定することができます。

ロール名を入力してください。 検索 クリア

編集	ユーザコード	カテゴリ	ロール名	表示名
		im_workflow	im_workflow_manager	IM-Workflow 管理者
		im_workflow	im_workflow_operator	IM-Workflow 運用管理者
		im_workflow	im_workflow_user	IM-Workflow ユーザ

1 ページ中 1 ページ目 10 3 件中 1 - 3 を表示

3. 表示名のロケール分の名称をすべて入力します。

ロール編集

ロール情報

ロールID * im_workflow_user

ロール名 * im_workflow_user

カテゴリ im_workflow

表示名 *

日本語 *	IM-Workflow ユーザ
英語	IM-Workflow User
中国語 (中華人民共和国)	IM-Workflow 用户

サブロール

サブロールを検索して追加 チェックしたサブロールを削除

サブロール一覧

ロール名	表示名
------	-----

0 ページ中 1 ページ目 5 表示するレコードがありません

備考

更新 削除

4. 「更新」をクリックして更新します。

IM共通マスタ情報の補完

IM共通マスタ情報に関して、下記の項目を設定する必要があります。下記項目は、IM共通マスタの国際化対応情報のうち、IM-Workflow を動作させるための最低限必須となるマスタについて記載しています。

下記で記載のない任意項目については、適宜、マスタメンテナンスを行ってください。（例：マスタ情報の備考など）

対象情報	項目
ユーザ ※1	ユーザプロフィール 他ロケール設定
組織 ※1	組織名 他ロケール設定
会社 ※2	会社名 他ロケール設定
役職 ※2	役職名 他ロケール設定
パブリックグループ ※2	パブリックグループ名 他ロケール設定
パブリックグループ・役割 ※2	パブリックグループ名・役割名 他ロケール設定

※1. IM-Workflow の処理実行時に登録される、処理実行者名や処理実行組織名として利用されます。これらの情報はインストールされている全言語分必ず登録されている必要があります。

※2. IM-Workflow のルート定義のノードに対して、処理対象者として設定している情報の場合、国際化情報設定は必須です。対象者として設定されるマスタ情報は、ルート定義で設定した対象のみではなく、「動的承認ノード」や「横配置ノード」、「縦配置ノード」で処理者が設定する場合もあるため、すべてのマスタ情報に対して国際化情報が登録されている状態での運用を推奨します。

上記項目の設定方法は以下の通りです。

■ ユーザ

1. 「サイトマップ」→「共通マスタ」→「マスタメンテナンス」→「ユーザ」をクリックします。
2. 「検索」をクリックして一覧を表示します。

ユーザ検索

ユーザの新規登録

基準日 2014/06/16 ロケール 日本語

基本 アカウント

所属対象 ☒ 組織 ☐ パブリックグループ

所属 _____

☒ 下位階層も検索する

キーワード _____

対象 ☒ コード ☒ 名前 ☐ フリガナ

☒ 無効なものも検索対象にする

検索 クリア

3. 対象のユーザの「編集」をクリックします。

ユーザ検索

ユーザの新規登録

基準日 2014/06/16 ロケール 日本語

基本 アカウント

所属対象 ☒ 組織 ☐ パブリックグループ

所属 _____

☒ 下位階層も検索する











キーワード _____

対象 ☒ コード ☒ 名前 ☐ フリガナ

☒ 無効なものも検索対象にする

検索 クリア

<< 1 - 10 / 13 >>

編集	コード	表示名
	tenant	tenant
	ueda	上田辰男
	aoyagi	青柳辰巳
	hayashi	林政義
	maruyama	円山益男
	sekine	関根千香
	terada	寺田雅彦
	yoshikawa	吉川一哉
	ohiso	大磯博文
	hagimoto	萩本順子

4. 「プロフィール」をクリックします。

ユーザ詳細(上田辰男)

1999/12/13 1年間表示 2000/12/12

2000/01/01 - 2000/12/31

基本 **プロフィール** アカウント ロール 組織所属 パブリックグループ所属 分類設定

ユーザコード ueda

削除 更新

5. 「他ロケール設定」をクリックします。

ユーザ詳細(上田辰男)

1999/12/13 1年間表示 2000/12/12

2000/01/01 - 2000/12/31

基本 **プロフィール** アカウント ロール 組織所属 パブリックグループ所属 分類設定

現在のロケール 日本語

性別 ☒ 男性 ☐ 女性

ユーザ名 * 上田辰男

フリガナ ウエダ タツオ

国コード

郵便番号

住所1

住所2

住所3

電話番号

内線番号

FAX番号

内線FAX番号

携帯電話番号

メールアドレス1

メールアドレス2

携帯メールアドレス

URL

備考

他ロケール設定

削除 更新

6. 日本語以外のロケールのチェックをオンにし、全ロケールの必要な情報を入力します。

国際化項目一括設定

閉じる

日本語

英語

先頭へ 日本語からコピー

ユーザー名 * ueda tatsuo

フリガナ ueda tatsuo

国コード

郵便番号

住所1

住所2

住所3

電話番号

内線番号

FAX番号

内線FAX番号

携帯電話番号

メールアドレス1

メールアドレス2

携帯メールアドレス

URL

備考

中国語 (中華人民共和国)

先頭へ 日本語からコピー

ユーザー名 * 上田辰男

フリガナ ueda tatsuo

国コード

郵便番号

決定



コラム

処理依頼通知などのメール通知を利用する場合には、「メールアドレス1」にアドレスを設定していないと送信されませんので注意してください。

7. 入力が終わったら、「決定」をクリックします。

国際化項目一括設定

メールアドレス1
メールアドレス2
携帯メールアドレス
URL
備考

日本語 (中華人民共和国) ☒ [先頭へ](#) [日本語からコピー](#)

フリガナ ueda tatsuo

国コード
郵便番号
住所1
住所2
住所3
電話番号
内線番号
FAX番号
内線FAX番号
携帯電話番号
メールアドレス1
メールアドレス2
携帯メールアドレス
URL
備考

決定

8. 「更新」をクリックして、ユーザの情報を更新します。

ユーザ詳細(上田辰男)

1999/12/13 1年間表示 2000/12/12

2000/01/01 - 2999/12/31

基本 プロファイル アカウント ロール 組織所属 パブリックグループ所属 分類設定

現在のロケール 日本語 [他ロケール設定](#)

性別 ☒ 男性 ☐ 女性

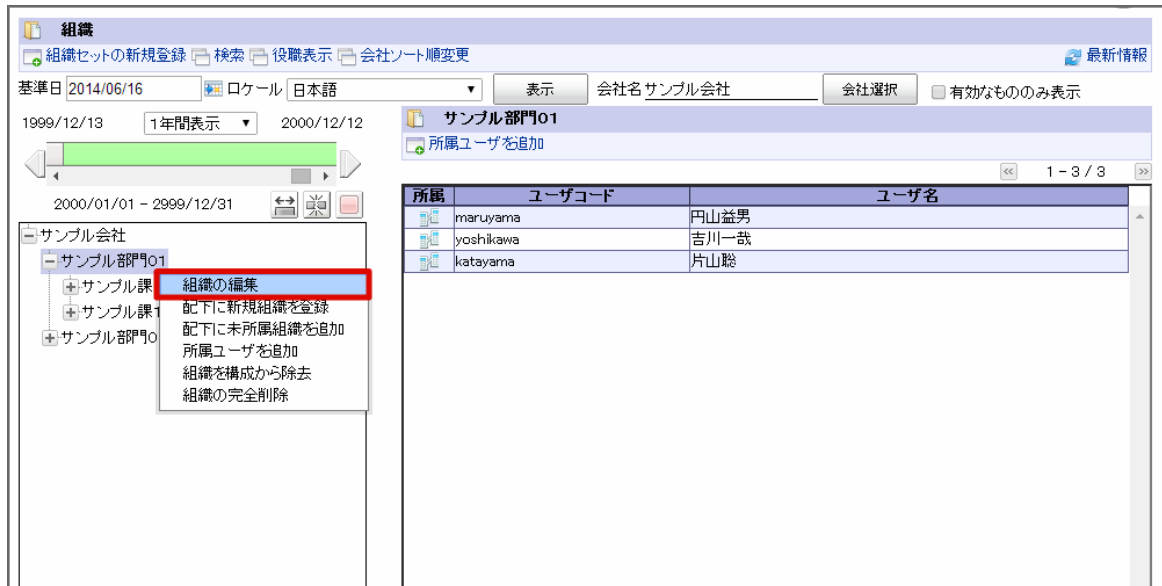
ユーザ名 * 上田辰男

フリガナ ウエダ タツオ

国コード
郵便番号
住所1
住所2
住所3
電話番号
内線番号
FAX番号
内線FAX番号
携帯電話番号
メールアドレス1
メールアドレス2
携帯メールアドレス
URL
備考

削除 更新

1. 「サイトマップ」→「共通マスタ」→「マスタメンテナンス」→「組織」をクリックします。
2. 左のツリーから対象の組織を右クリックし、「組織の編集」をクリックします。



3. 「他ロケール設定」をクリックします。

組織詳細(サンプル部門01)

現在のロケール: 日本語
現在の会社名: サンプル会社
組織コード: dept_sample_10

名称: * サンプル部門01
略称: サンプル部門01
検索名:
国コード: 81
郵便番号: 107-0052
住所1: 東京都XX区XX町 A-A-A
住所2: BBBビル 8F
住所3:
電話番号: 03-5549-2821
内線番号:
FAX番号: 03-5549-2816
内線FAX番号:
メールアドレス1: info@intra-mart.jp
メールアドレス2:
URL: http://www.intra-mart.jp/
備考:

他ロケール設定

削除 更新

4. 日本語以外のロケールのチェックをオンにし、すべてのロケールに必要な情報を入力します。

国際化項目一括設定 閉じる

現在の会社名 サンプル会社

☐ 日本語

☒ 英語 先頭へ 日本語からコピー

名称 * SampleDivision01

略称 SampleDivision01

検索名

国コード 81

郵便番号 107-0052

住所1 A-A-A, c-c-cho, XX-ku, Tokyo

住所2 BBB Bldg 8F

住所3

電話番号 03-5549-2821

内線番号

FAX番号 03-5549-2816

内線FAX番号

メールアドレス1 info@intra-mart.jp

メールアドレス2

URL http://www.intra-mart.jp/

備考

☐ 中国語 (中華人民共和国) 先頭へ 日本語からコピー

名称 * 样例部門01

略称 样例部門01

検索名

決定

5. 他のロケールの項目の入力が終わったら、「決定」をクリックします。

国際化項目一括設定 閉じる

現在の会社名 サンプル会社

☐ 日本語

☒ 英語 先頭へ 日本語からコピー

名称 * SampleDivision01

略称 SampleDivision01

検索名

国コード 81

郵便番号 107-0052

住所1 A-A-A, c-c-cho, XX-ku, Tokyo

住所2 BBB Bldg 8F

住所3

電話番号 03-5549-2821

内線番号

FAX番号 03-5549-2816

内線FAX番号

メールアドレス1 info@intra-mart.jp

メールアドレス2

URL http://www.intra-mart.jp/

備考

☐ 中国語 (中華人民共和国) 先頭へ 日本語からコピー

名称 * 样例部門01

略称 样例部門01

検索名

決定

6. 「更新」をクリックして、組織の情報を更新します。

組織詳細(サンプル部門01) 開じる

1999/12/13 1年間表示 2000/12/12

2000/01/01 - 2999/12/31

基本 分類設定

現在のロケール: 日本語 他ロケール設定

現在の会社名: サンプル会社

組織コード: dept_sample_10

名称: * サンプル部門01

略称: サンプル部門01

検索名:

国コード: 81

郵便番号: 107-0052

住所1: 東京都XX区〇〇町 A-A-A

住所2: BBBビル 8F

住所3:

電話番号: 03-5549-2821

内線番号:

FAX番号: 03-5549-2816

内線FAX番号:

メールアドレス1: info@intra-mart.jp

メールアドレス2:

URL: http://www.intra-mart.jp/

備考:

削除 更新

■ 会社

1. 「サイトマップ」→「共通マスタ」→「マスタメンテナンス」→「会社」をクリックします。
2. 対象の会社コードをクリックします。

会社一覧

新規作成 認可設定 C

会社コード、会社名を入力してください。 検索 クリア

選択済みの会社を削除

会社コード	会社名
<input type="checkbox"/> comp_other_01	その他会社
<input checked="" type="checkbox"/> comp_sample_01	サンプル会社

C << 1 ページ中 1 ページ目 >> 10 2 件中 1 - 2 を表示

3. 表示されているすべてのロケールに必要な情報を入力します。

会社 - 編集

会社情報

会社コード comp_sample_01

ソートキー 0

日本語

名称 * サンプル会社

略称 サンプル会社

検索名

国コード 81

郵便番号 107-0052

住所1 東京都XX区cc町 A-A-A

住所2 BBBビル 8F

住所3

電話番号 03-5549-2821

内線番号

FAX番号 03-5549-2816

内線FAX番号

メールアドレス1 info@intra-mart.jp

英語

中国語 (中華人民共和国)

更新 削除

会社 - 編集

会社情報

会社コード comp_sample_01

ソートキー 0

日本語

英語

名称 SampleCompany

略称 SampleCompany

検索名

国コード 81

郵便番号 107-0052

住所1 A-A-A, cc-cho, XX-ku, Tokyo

住所2 BBB Bldg 8F

住所3

電話番号 03-5549-2821

内線番号

FAX番号 03-5549-2816

内線FAX番号

メールアドレス1 info@intra-mart.jp

中国語 (中華人民共和国)

更新 削除

会社 - 編集

会社情報

会社コード comp_sample_01

ソートキー 0

日本語

英語

中国語 (中華人民共和国)

名称 样例公司

略称 样例公司

検索名

国コード 81

郵便番号 107-0052

住所1 東京都XX区XX町 A-A-A

住所2 BBB大楼 8F

住所3

電話番号 03-5549-2821

内線番号

FAX番号 03-5549-2816

内線FAX番号

メールアドレス1 info@intra-mart.jp

更新 削除

4. 項目の入力が終わったら、「更新」をクリックして、会社の情報を更新します。

会社 - 編集

会社情報

会社コード comp_sample_01

ソートキー 0

日本語

英語

中国語 (中華人民共和国)

名称 样例公司

略称 样例公司

検索名

国コード 81

郵便番号 107-0052

住所1 東京都XX区XX町 A-A-A

住所2 BBB大楼 8F

住所3

電話番号 03-5549-2821

内線番号

FAX番号 03-5549-2816

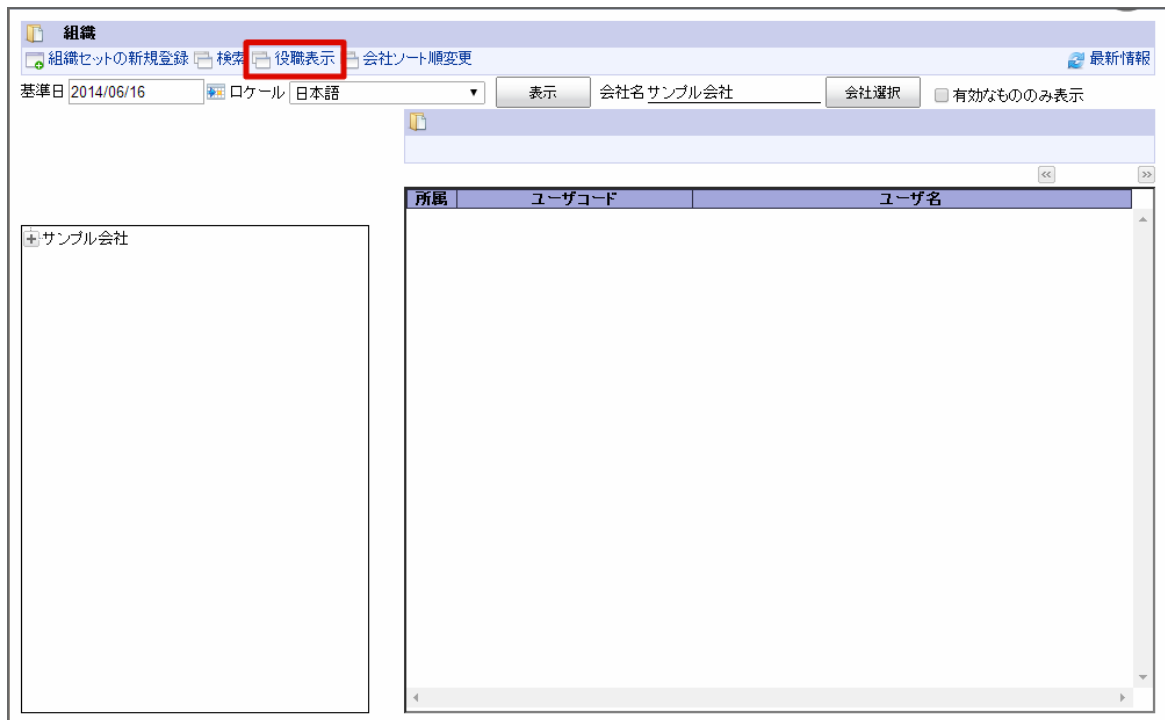
内線FAX番号

メールアドレス1 info@intra-mart.jp

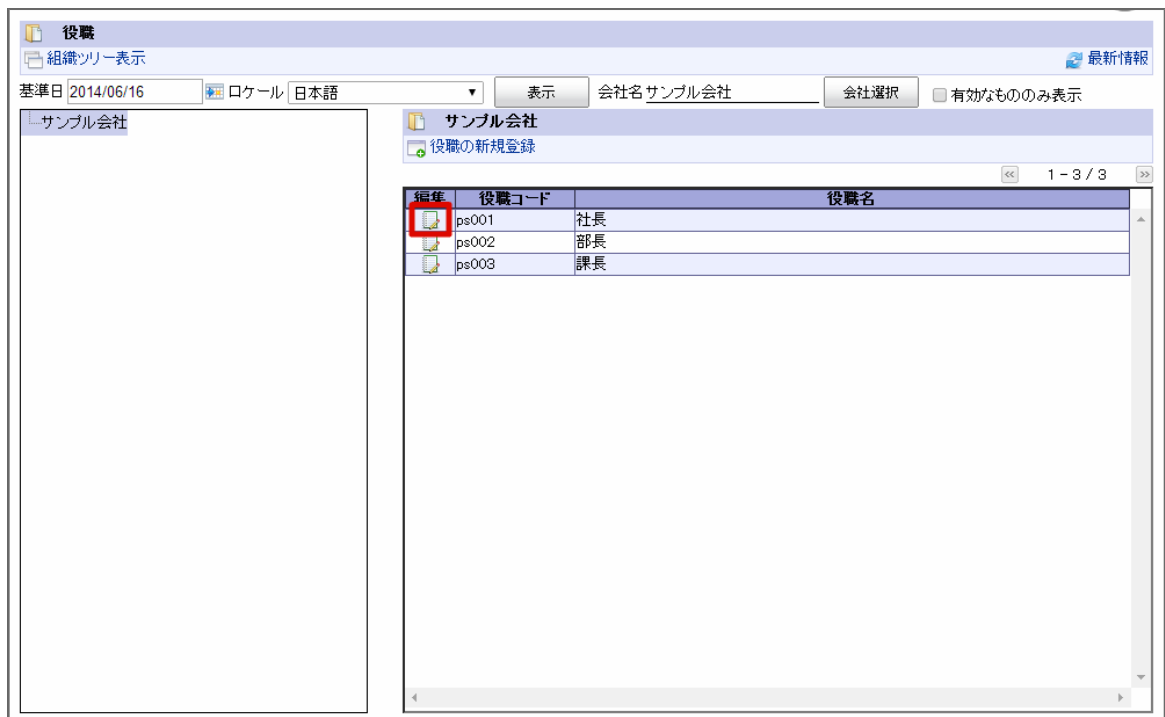
更新 削除

■ 役職

1. 「サイトマップ」→「共通マスタ」→「マスタメンテナンス」→「組織」をクリックします。
2. 「役職表示」をクリックします。



3. 会社名をクリックし、対象の役職の「編集」をクリックします。



4. 「他ロケール設定」をクリックします。

役職詳細(社長)

1999/12/13 1年間表示 2000/12/12

2000/01/01 - 2999/12/31

基本

現在のロケール 日本語 他ロケール設定

現在の会社名 サンプル会社

会社コード comp_sample_01

組織セットコード comp_sample_01

組織セット名 サンプル会社

役職コード ps001

名称 * 社長

ランク * 0

備考

ソートキー * 0

削除 更新

5. 日本語以外のロケールのチェックをオンにし、必要な情報を入力します。

国際化項目一括設定

現在の会社名 サンプル会社

日本語

英語 ☒ 先頭へ 日本語からコピー

名称 * CEO

備考

中国語(中華人民共和国) ☒ 先頭へ 日本語からコピー

名称 * 总经理

備考

決定

6. 項目の入力が終わったら、「決定」をクリックします。

国際化項目一括設定

現在の会社名 サンプル会社

日本語

英語 ☒ 先頭へ 日本語からコピー

名称 * CEO

備考

中国語 (中華人民共和国) ☒ 先頭へ 日本語からコピー

名称 * 总经理

備考

決定

7. 「更新」をクリックして、役職の情報を更新します。

役職詳細(社長)

1999/12/13 1年間表示 2000/12/12

2000/01/01 - 2000/12/31

基本

現在のロケール 日本語 他ロケール設定

現在の会社名 サンプル会社

会社コード comp_sample_01

組織セットコード comp_sample_01

組織セット名 サンプル会社

役職コード ps001

名称 * 社長

ランク * 0

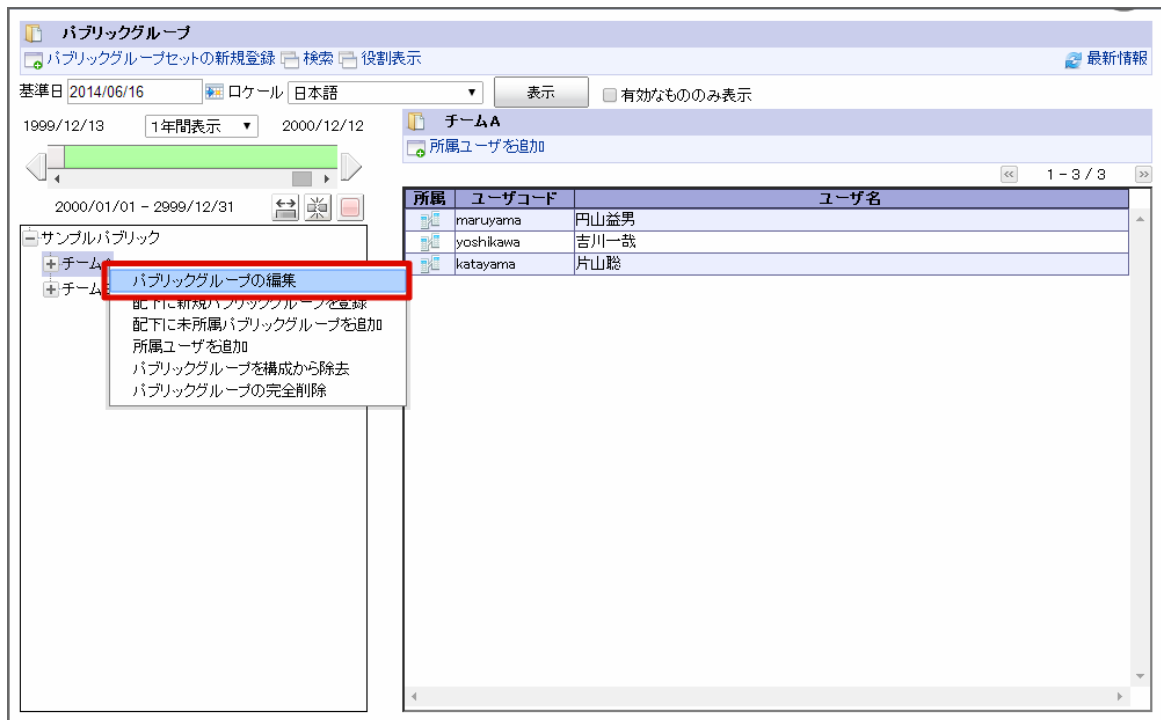
備考

ソートキー * 0

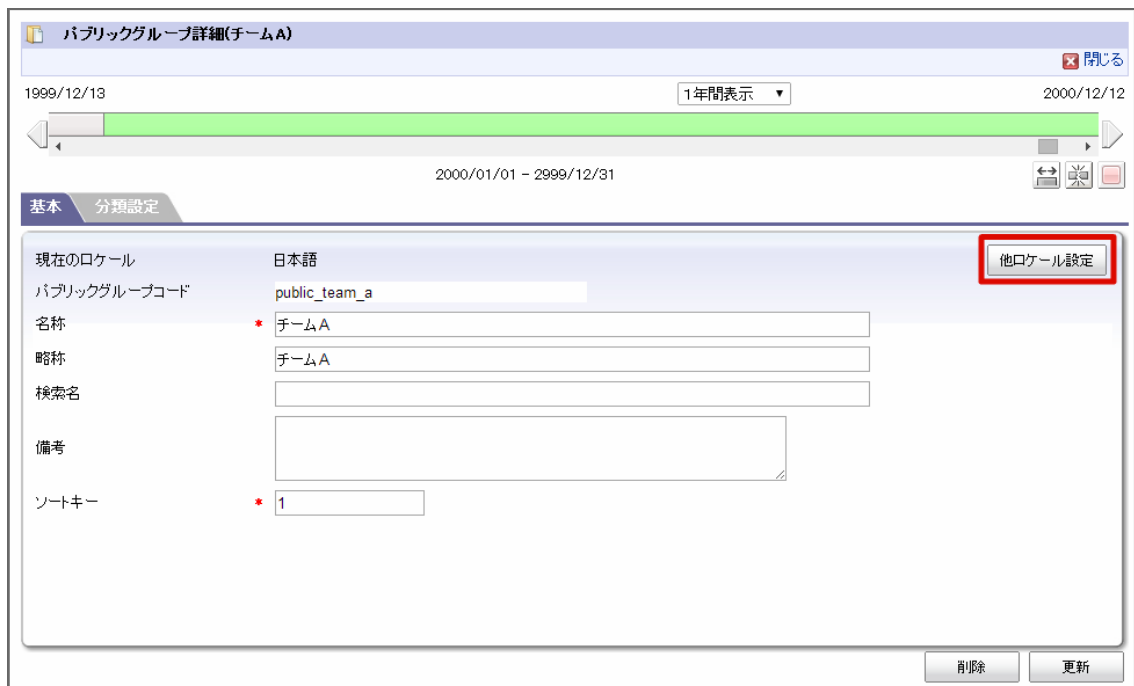
削除 更新

■ パブリックグループ

1. 「サイトマップ」→「共通マスタ」→「マスタメンテナンス」→「パブリックグループ」をクリックします。
2. 左のツリーから対象のパブリックグループを右クリックし、「パブリックグループの編集」をクリックします。



3. 「他ロケール設定」をクリックします。



4. 日本語以外のロケールのチェックをオンにし、必要な情報を入力します。

国際化項目一括設定

日本語

英語 ☒

先頭へ 日本語からコピー

名称 * Team-A

略称 Team-A

検索名

備考

中国語(中華人民共和国) ☒

先頭へ 日本語からコピー

名称 * A队

略称 A队

検索名

備考

決定

5. 項目の入力が終わったら、「決定」をクリックします。

国際化項目一括設定

日本語

英語 ☒

先頭へ 日本語からコピー

名称 * Team-A

略称 Team-A

検索名

備考

中国語(中華人民共和国) ☒

先頭へ 日本語からコピー

名称 * A队

略称 A队

検索名

備考

決定

6. 「更新」をクリックして、パブリックグループの情報を更新します。

パブリックグループ詳細(チームA)

1999/12/13 1年間表示 2000/12/12

2000/01/01 - 2999/12/31

基本 分類設定

現在のロケール 日本語 他ロケール設定

パブリックグループコード public_team_a

名称 * チームA

略称 チームA

検索名

備考

ソートキー * 1

削除 更新

■ パブリックグループ・役割

1. 「サイトマップ」→「共通マスタ」→「マスタメンテナンス」→「パブリックグループ」をクリックします。
2. 「役割表示」をクリックします。

パブリックグループ

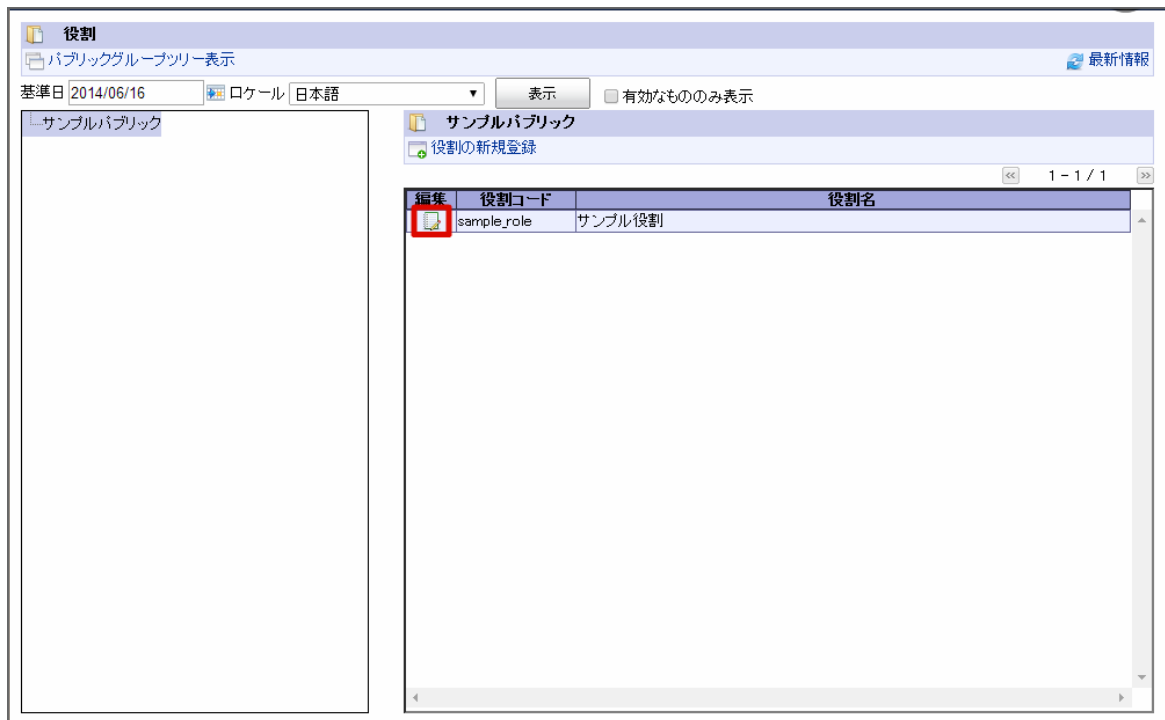
パブリックグループセットの新規登録 検索 役割表示 最新情報

基準日 2014/06/16 ロケール 日本語 表示 有効なもののみ表示

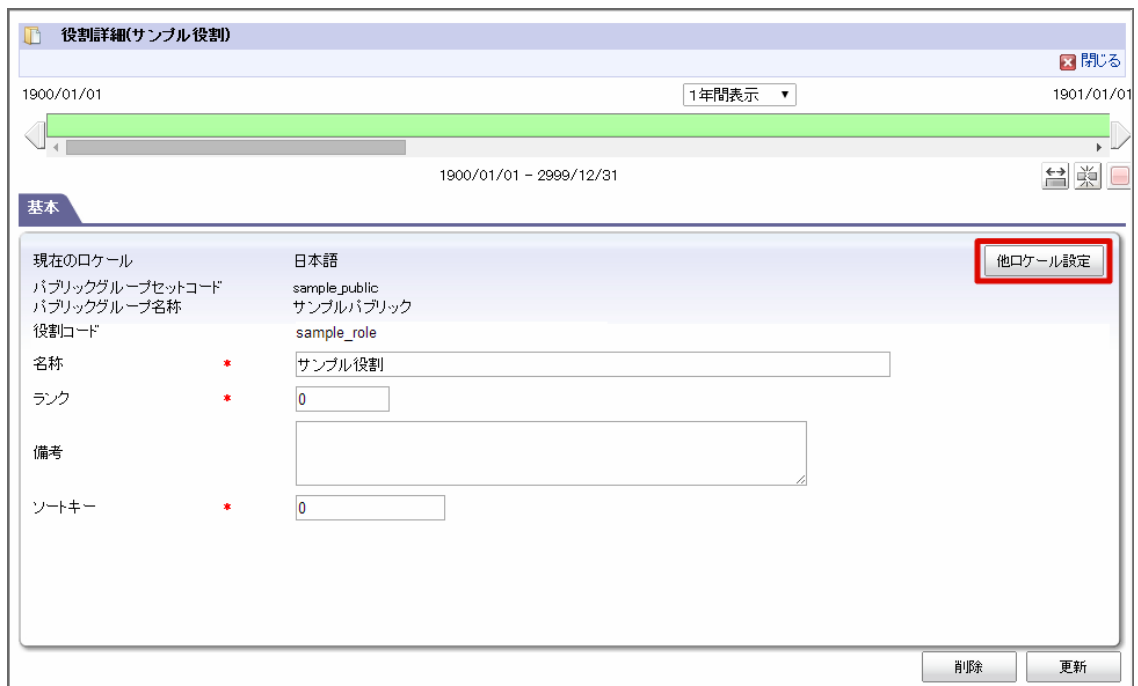
サンプルパブリック

所屬	ユーザコード	ユーザ名

3. パブリックグループをクリックし、対象の役割の「編集」をクリックします。



4. 「他ロケール設定」をクリックします。



5. 日本語以外のロケールのチェックをオンにし、必要な情報を入力します。

国際化項目一括設定

閉じる

日本語

英語

先頭へ 日本語からコピー

名称 * sample role

備考

中国語 (中華人民共和国)

先頭へ 日本語からコピー

名称 * 样的作用

備考

決定

6. 項目の入力が終わったら、「決定」をクリックします。

国際化項目一括設定

閉じる

日本語

英語

先頭へ 日本語からコピー

名称 * sample role

備考

中国語 (中華人民共和国)

先頭へ 日本語からコピー

名称 * 样的作用

備考

決定

7. 「更新」をクリックして、役割の情報を更新します。

役割詳細(サンプル役割)

1900/01/01 1年間表示 1901/01/01

1900/01/01 - 1999/12/31

基本

現在のロケール 日本語 他ロケール設定

パブリックグループセットコード sample_public

パブリックグループ名称 サンプルパブリック

役割コード sample_role

名称 * サンプル役割

ランク * 0

備考

ソートキー * 0

削除 更新

IM-Workflow 情報の各種マスタ登録

IM-Workflow マスタ情報に関して、下記の項目を設定する必要があります。下記項目は、IM-Workflow の国際化対応情報のうち、IM-Workflow を動作させるための最低限必須となるマスタについて記載しています。

下記で記載のない任意項目については、適宜、マスタメンテナンスを行ってください。（例：マスタ情報の備考など）

対象情報	項目
案件プロパティ定義	キー名
ルール定義	ルール名
メール定義	メール名
	件名
	本文
IMBox定義	IMBox名
	本文
メッセージ定義	メッセージ名
	件名
	本文
一覧表示パターン定義	パターン名
フローグループ定義	フローグループ名
コンテンツ定義	コンテンツ名
	画面名
	プログラム名
ルート定義	ルート名
フロー定義	フロー名
	処理名

1. 「サイトマップ」→「ワークフロー」→「ワークフロー管理者」→「マスタ定義」→「案件プロパティ定義」をクリックします。
2. 対象の案件プロパティの「編集」をクリックします。

3. すべてのロケールのキー名を入力し、「更新」をクリックします。

1. 「**サイトマップ**」→「**ワークフロー**」→「**ワークフロー管理者**」→「**マスタ定義**」→「**ルール定義**」をクリックします。
2. 対象のルールの「**編集**」をクリックします。

3. すべてのロケールのルール名を含む各項目に必要な情報を入力し、「更新」をクリックします。

ルール定義 - 編集
[戻る](#) | [コピー](#) | [利用状況確認](#)

ルールID: rule_sample_01

ルール名(必須)

英語	Total amount: Less than 10000
日本語	合計金額: 10000未満
中国語(中華人民共和国)	合計金額: 10000不足

備考

英語	
日本語	
中国語(中華人民共和国)	

☒ すべての条件を満たすとき真
 ☐ いずれかの条件を満たすとき真

No.	キー	比較	条件値	クリア
1	合計金額 (型: 数値)	が次より小さい	<input checked="" type="radio"/> 固定 10000 <input type="radio"/> 変数 (型:)	
2	 (型:)		<input checked="" type="radio"/> 固定 <input type="radio"/> 変数 (型:)	
3	 (型:)		<input checked="" type="radio"/> 固定 <input type="radio"/> 変数 (型:)	
4	 (型:)		<input checked="" type="radio"/> 固定 <input type="radio"/> 変数 (型:)	
5	 (型:)		<input checked="" type="radio"/> 固定 <input type="radio"/> 変数 (型:)	
6	 (型:)		<input checked="" type="radio"/> 固定 <input type="radio"/> 変数 (型:)	
7	 (型:)		<input checked="" type="radio"/> 固定 <input type="radio"/> 変数 (型:)	
8	 (型:)		<input checked="" type="radio"/> 固定 <input type="radio"/> 変数 (型:)	
9	 (型:)		<input checked="" type="radio"/> 固定 <input type="radio"/> 変数 (型:)	
10	 (型:)		<input checked="" type="radio"/> 固定 <input type="radio"/> 変数 (型:)	

更新
 削除

■ メール定義

1. 「サイトマップ」→「ワークフロー」→「ワークフロー管理者」→「マスタ定義」→「メール定義」をクリックします。
2. 対象のメールの「編集」をクリックします。

メール定義

新規作成 最新情報

メール種別 | メール名 検索

編集	メールID	メール種別	メール名	備考	標準
	act	代理通知	代理通知	代理通知用の標準メールテンプレート	
	autopress	自動催促	自動催促	自動催促用の標準メールテンプレート	
	confirm	確認依頼	確認依頼	確認依頼用の標準メールテンプレート	
	negotiation	根回し	根回し	根回し用の標準メールテンプレート	
	processing	処理依頼	処理依頼	処理依頼用の標準メールテンプレート	
	reference	参照依頼	参照依頼	参照依頼用の標準メールテンプレート	
	result	処理結果通知	処理結果通知	処理結果通知用の標準メールテンプレート	
	transfer	振替通知	振替通知	振替通知用の標準メールテンプレート	

1-8/8

3. すべてのロケールのメール名、件名、本文を含む各項目に必要な情報を入力し、「更新」をクリックします。

メール定義 - 編集

[戻る](#) | [コピー](#) | [プレビュー](#) | [利用状況確認](#) | [メール置換文字列](#)

メールID	processing (システム標準)	
メール種別	処理依頼	
メール名 (必須)	英語	Processing request
	日本語	処理依頼
	中国語 (中華人民共和国)	处理委托
備考	英語	Standard mail template for processing request
	日本語	処理依頼用の標準メールテンプレート
	中国語 (中華人民共和国)	处理委托用标准邮件模板
差出人	{^Auth_User_Ml^}	
宛先	{^Exec_User_Ml^},{^Exec_Act_User_Ml^}	
CC	{^Comp_Org_Act_Ml^}	
BCC		
返信先の宛先	{^Auth_User_Ml^}	
件名	英語	[Workflow] Notification of processing request [{^Matter_Nm^}]
	日本語	【ワークフロー】処理依頼のお知らせ [{^Matter_Nm^}]
	中国語 (中華人民共和国)	【工作流】处理请求的通知 [{^Matter_Nm^}]
本文	英語	<p>{^Before_Proc_Nm^} is performed for the following matter by {^Auth_User_Nm^}.</p> <p>Please perform the process.</p> <p>< Execution limit > {^Auto_Exec_Limit^}</p> <p>< Comment > {^Auth_Cm^}</p> <p>下記案件が{^Auth_User_Nm^}によって{^Before_Proc_Nm^}されました。処理をお願いします。</p> <p>< 処理期限 > {^Auto_Exec_Limit^}</p> <p>< コメント > {^Auth_Cm^}</p> <p>下述案件已由{^Auth_User_Nm^}进行了{^Before_Proc_Nm^}。请进行处理。</p> <p>< 处理期限 > {^Auto_Exec_Limit^}</p> <p>< 备注 > {^Auth_Cm^}</p>
	日本語	
	中国語 (中華人民共和国)	

更新

■ 一覧表示パターン定義

- 「サイトマップ」→「ワークフロー」→「ワークフロー管理者」→「マスタ定義」→「一覧表示パターン定義」をクリックします。
- 対象の一覧表示パターンの「編集」をクリックします。

一覧表示パターン定義

新規作成 最新情報

対象一覧 ▼ | パターン名 ▼ 検索

1-10/10

編集	対象一覧	パターン名	備考	標準
	申請一覧	申請標準	申請標準パターン	
	一時保存一覧	一時保存標準	一時保存標準パターン	
	未処理一覧	未処理標準	未処理標準パターン	
	処理済(未完了案件)一覧	処理済(未完了)標準	処理済(未完了)標準パターン	
	処理済(完了案件)一覧	処理済(完了)標準	処理済(完了)標準パターン	
	過去案件一覧	過去案件標準	過去案件標準パターン	
	参照(未完了案件)一覧	参照(未完了)標準	参照(未完了)標準パターン	
	参照(完了案件)一覧	参照(完了)標準	参照(完了)標準パターン	
	確認(未完了案件)一覧	確認(未完了)標準	確認(未完了)標準パターン	
	確認(完了案件)一覧	確認(完了)標準	確認(完了)標準パターン	

1-10/10

3. すべてのロケールのパターン名を含む各項目に必要な情報を入力し、「更新」をクリックします。

一覧表示パターン定義 - 編集

戻る コピー

対象一覧 申請一覧

パターン名 (必須)

英語 Application standard

日本語 申請標準

中国語 (中華人民共和国) 申请标准

備考

英語 Application standard pattern

日本語 申請標準パターン

中国語 (中華人民共和国) 申请标准模式

標準設定

☒ 設定する

一覧表示項目 (必須)

全項目一覧

選択項目一覧

申請

フロー名

備考

フロー

全選択

選択

クリア

全解除

上へ

下へ

初期ソート条件

ソート項目名	昇順	降順
フロー名	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>
	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>

プレビュー

申請	フロー名	備考	フロー
	フロー名-フロー名	備考-備考	

更新 削除

■ フローグループ定義

- 「サイトマップ」→「ワークフロー」→「ワークフロー管理者」→「マスタ定義」→「フローグループ定義」をクリックします。
- 対象のフローグループをクリックします。

フローグループ定義 - 編集

新規作成

フローグループ1

フローグループ2

フローグループID: parent

親階層(必須): /

フローグループ名(必須):
英語: フローグループ1
日本語: フローグループ1
中国語(中華人民共和国): フローグループ1

備考:
英語:
日本語:
中国語(中華人民共和国):

ソートキー(必須): 0

フロー:

検索

クリア

更新

削除

3. すべてのロケールのフローグループ名を含む各項目に必要な情報を入力し、「更新」をクリックします。

フローグループ定義 - 編集

新規作成

フローグループ1

フローグループ2

フローグループID: parent

親階層(必須): /

フローグループ名(必須):
英語: フローグループ1
日本語: フローグループ1
中国語(中華人民共和国): フローグループ1

備考:
英語:
日本語:
中国語(中華人民共和国):

ソートキー(必須): 0

フロー:

検索

クリア

更新

削除

■ コンテンツ定義

1. 「サイトマップ」→「ワークフロー」→「ワークフロー管理者」→「マスタ定義」→「コンテンツ定義」をクリックします。
2. 対象のコンテンツの「編集」をクリックします。

コンテンツ定義

新規作成 最新情報

コンテンツ名 検索

1-3/3

編集	コンテンツID	コンテンツ名	備考
	contents_javaee	JavaEE開発モデル	
	contents_script	スクリプト開発モデル	
	sample_contents	サンプルコンテンツ	

1-3/3

3. すべてのロケールのコンテンツ名を含む各項目に必要な情報を入力し、「更新」をクリックします。

コンテンツ定義 - 編集

戻る | 利用状況確認

基本情報 バージョン

コンテンツID	contents_script		
コンテンツ名 (必須)	英語	Script development model	
	日本語	スクリプト開発モデル	
	中国語 (中華人民共和国)	脚本开发模式	
備考	英語		
	日本語		
	中国語 (中華人民共和国)		

管理グループ

検索

管理グループ名 編集権限 クリア

更新 削除

4. 「バージョン」をクリックします。

コンテンツ定義 - 編集

戻る | 利用状況確認

基本情報 **バージョン**

コンテンツID	contents_script		
コンテンツ名 (必須)	英語	Script development model	
	日本語	スクリプト開発モデル	
	中国語 (中華人民共和国)	脚本开发模式	
備考	英語		
	日本語		
	中国語 (中華人民共和国)		

管理グループ

検索

管理グループ名 編集権限 クリア

更新 削除



5. 対象のバージョンの「編集」をクリックします。

コンテンツ定義 - 編集

戻る | 利用状況確認

基本情報 バージョン

新規作成

編集	バージョン期間		備考	有効
	開始	終了		
	2010/01/01	2999/12/31		

6. 「画面」をクリックします。

コンテンツ定義 - バージョン - 編集

戻る | コンテンツコピー | バージョンコピー

コンテンツID: contents_script

コンテンツ名: スクリプト開発モデル

基本情報 **画面** ユーザプログラム メール IMBox ルール

バージョン期間(必須): 2010/01/01 から 2999/12/31 まで

バージョン有効/無効(必須): ☒ 有効 ☐ 無効

備考

英語:

日本語:

中国語(中華人民共和国):

更新 削除

7. 対象の画面の「編集」をクリックします。

コンテンツ定義 - バージョン - 編集

戻る | コンテンツコピー | バージョンコピー

コンテンツID: contents_script

コンテンツ名: スクリプト開発モデル

基本情報 **画面** ユーザプログラム メール IMBox ルール

新規作成

編集	画面名	画面種別	パス種別	備考	初期使用
	一時保存	一時保存画面	スクリプト開発モデル		
	一時保存	一時保存画面(スマートフォン用)	スクリプト開発モデル		
	過去詳細	過去案件詳細画面	スクリプト開発モデル		
	確認	確認画面	スクリプト開発モデル		
	確認	確認画面(スマートフォン用)	スクリプト開発モデル		
	確認詳細	確認詳細画面	スクリプト開発モデル		
	再申請	再申請画面	スクリプト開発モデル		
	再申請	再申請画面(スマートフォン用)	スクリプト開発モデル		
	参照詳細	参照詳細画面	スクリプト開発モデル		
	処理	処理画面(スマートフォン用)	スクリプト開発モデル		
	処理	処理画面	スクリプト開発モデル		
	処理詳細	処理詳細画面	スクリプト開発モデル		
	申請	申請画面(スマートフォン用)	スクリプト開発モデル		
	申請	申請画面	スクリプト開発モデル		
	申請(起票案件)	申請(起票案件)画面(スマートフォン用)	スクリプト開発モデル		
	申請(起票案件)	申請(起票案件)画面	スクリプト開発モデル		

8. すべてのロケールの画面名を含む各項目に必要な情報を入力し、「更新」をクリックします。

画面定義編集

コピー 閉じる

画面名(必須)

英語: Process

日本語: 処理

中国語(中華人民共和国): 处理

画面種別(必須): 処理画面

パス種別(必須): スクリプト開発モデル

スクリプトパス(必須): sample/im_workflow/purchase/screen/approve

備考

英語:

日本語:

中国語(中華人民共和国):

初期使用: ☒ フローの初期設定で使用する

更新 削除

9. 「ユーザプログラム」をクリックします。

コンテンツ定義 - バージョン - 編集

戻る | コンテンツコピー | バージョンコピー

コンテンツID: contents_script

コンテンツ名: スクリプト開発モデル

基本情報 画面 ユーザプログラム メール IMBox ルール

新規作成

編集	画面名	画面種別	パス種別	備考	初期使用
	一時保存	一時保存画面	スクリプト開発モデル		
	一時保存	一時保存画面(スマートフォン用)	スクリプト開発モデル		
	過去詳細	過去案件詳細画面	スクリプト開発モデル		
	確認	確認画面	スクリプト開発モデル		
	確認	確認画面(スマートフォン用)	スクリプト開発モデル		
	確認詳細	確認詳細画面	スクリプト開発モデル		
	再申請	再申請画面	スクリプト開発モデル		
	再申請	再申請画面(スマートフォン用)	スクリプト開発モデル		
	参照詳細	参照詳細画面	スクリプト開発モデル		
	処理	処理画面(スマートフォン用)	スクリプト開発モデル		
	処理	処理画面	スクリプト開発モデル		
	処理詳細	処理詳細画面	スクリプト開発モデル		
	申請	申請画面(スマートフォン用)	スクリプト開発モデル		
	申請	申請画面	スクリプト開発モデル		
	申請(起票案件)	申請(起票案件)画面(スマートフォン用)	スクリプト開発モデル		
	申請(起票案件)	申請(起票案件)画面	スクリプト開発モデル		

10. 対象のユーザプログラムの「編集」をクリックします。

コンテンツ定義 - バージョン - 編集

戻る | コンテンツコピー | バージョンコピー

コンテンツID: contents_script

コンテンツ名: スクリプト開発モデル

基本情報 画面 ユーザプログラム メール IMBox ルール

新規作成

編集	プログラム名	プラグイン種類	対象ノード	備考	初期使用
	案件開始処理	【案件開始処理】スクリプト開発モデル			
	案件削除(過去)処理	【過去案件削除処理】スクリプト開発モデル			
	案件削除(完了)処理	【完了案件削除処理】スクリプト開発モデル			
	案件削除(未完了)処理	【未完了案件削除処理】スクリプト開発モデル			
	案件終了処理	【案件終了処理】スクリプト開発モデル			
	案件退避処理	【案件退避処理】スクリプト開発モデル			
	承認アクション処理	【アクション処理】スクリプト開発モデル	承認ノード		
	申請アクション処理1	【アクション処理】スクリプト開発モデル	申請ノード		
	申請アクション処理2	【アクション処理】スクリプト開発モデル	申請ノード		
	分岐処理[合計金額:10000以上50000未満]	【分岐条件】スクリプト開発モデル			
	分岐処理[合計金額:10000未満]	【分岐条件】スクリプト開発モデル			
	分岐処理[合計金額:50000以上]	【分岐条件】スクリプト開発モデル			

11. すべてのロケールのプログラム名を含む各項目に必要な情報を入力し、「更新」をクリックします。

ユーザプログラム定義編集

コピー 閉じる

プログラム名(必須)	英語	Application action process 1
	日本語	申請アクション処理1
	中国語(中華人民共和国)	申請动作处理1
プラグイン種別(必須)	アクション処理	
対象ノード(必須)	申請ノード	
プラグイン種類(必須)	【アクション処理】スクリプト開発モデル	
	sample/im_workflow/purchase/action/ActionProcess1	
備考	英語	
	日本語	
	中国語(中華人民共和国)	
初期使用	<input checked="" type="checkbox"/> フローの初期設定で使用する	
実行順番(必須)	1	

更新 削除

■ ルート定義

1. 「サイトマップ」→「ワークフロー」→「ワークフロー管理者」→「マスタ定義」→「ルート定義」をクリックします。
2. 対象のルートの「編集」をクリックします。

ルート定義

新規作成 最新情報

ルート種類 ▼ | ルート名 ▼ 検索

1-6/6

編集	ルートID	ルート名	ルート種類	備考
	route_sample_01	直線ルート	通常用	
	route_sample_02	横配置ルート	通常用	
	route_sample_03	縦配置ルート	通常用	
	route_sample_04	分岐ルート	通常用	
	route_sample_05	複合ルート	通常用	
	route_sample_temp	ルートテンプレート	テンプレート置換用	

1-6/6

3. すべてのロケールのルート名を含む各項目に必要な情報を入力し、「更新」をクリックします。

ルート定義 - 編集

戻る 利用状況確認

基本情報 バージョン

ルートID	route_sample_01	
ルート名(必須)	英語	straight route
	日本語	直線ルート
	中国語(中華人民共和国)	直线路径
ルート種類	通常用	
備考	英語	
	日本語	
	中国語(中華人民共和国)	

管理グループ 検索

管理グループ名 編集権限 クリア

更新 削除

■ フロー定義

1. 「サイトマップ」→「ワークフロー」→「ワークフロー管理者」→「マスタ定義」→「フロー定義」をクリックしま

す。

- 対象のフローの「編集」をクリックします。

編集	フローID	フロー名	備考
	flow_archive	アーカイブフロー	
	flow_3step	サンプルフロー1	
	flow_acyagi	サンプルフロー2	
	flow_javaee_01	直線ルート[JavaEE開発モデル]	
	flow_javaee_02	横配置ルート[JavaEE開発モデル]	
	flow_javaee_03	縦配置ルート[JavaEE開発モデル]	
	flow_javaee_04	分岐ルート[JavaEE開発モデル]	
	flow_javaee_05	複合ルート[JavaEE開発モデル]	
	flow_script_01	直線ルート[スクリプト開発モデル]	
	flow_script_02	横配置ルート[スクリプト開発モデル]	
	flow_script_03	縦配置ルート[スクリプト開発モデル]	
	flow_script_04	分岐ルート[スクリプト開発モデル]	
	flow_script_05	複合ルート[スクリプト開発モデル]	
	sample_flow	サンプルフロー	

- すべてのロケールのフロー名を含む各項目に必要な情報を入力し、「更新」をクリックします。

フローID: flow_javaee_01

フロー名 (必須)

英語: Straight route [JavaEE development model]
 日本語: 直線ルート[JavaEE開発モデル]
 中国語 (中華人民共和国): 直线路径[JavaEE开发模式]

備考

英語:
 日本語:
 中国語 (中華人民共和国):

管理グループ: 検索

管理グループ名: 編集権限 クリア

更新 削除

- 「バージョン」をクリックします。

フローID: flow_javaee_01

バージョン

フロー名 (必須)

英語: Straight route [JavaEE development model]
 日本語: 直線ルート[JavaEE開発モデル]
 中国語 (中華人民共和国): 直线路径[JavaEE开发模式]

備考

英語:
 日本語:
 中国語 (中華人民共和国):

管理グループ: 検索

管理グループ名: 編集権限 クリア

更新 削除





- 対象のバージョンの「編集」をクリックします。

フロー定義 - 編集

戻る

基本情報 バージョン

新規作成

編集	バージョン期間		備考	有効	コンテンツ	ルート
	開始	終了				
	2010/01/01	2999/12/31				

6. 「ルート詳細」をクリックします。

フロー定義 - バージョン - 編集

戻る フローコピー バージョンコピー

フローID flow_javaee_01

フロー名 直線ルート[JavaEE開発モデル]

基本情報 参照者 コンテンツ詳細 **ルート詳細**

バージョン期間 (必須) 2010/01/01 から 2999/12/31 まで

バージョン有効/無効 (必須) ☒ 有効 ☐ 無効

備考

英語

日本語

中国語 (中華人民共和国)

コンテンツ (必須) JavaEE開発モデル 検索

ルート (必須) 直線ルート 検索

カレンダー

機能設定

ファイルの添付 ☒ 有効 ☐ 無効

一括処理 ☒ 有効 ☐ 無効 ☐ 全てのノードに設定

一括確認 ☒ 有効 ☐ 無効

完了した案件の確認 ☐ 有効 ☒ 無効

自動処理 ☐ 有効 ☒ 無効 ☐ 全てのノードに設定

自動催促 ☐ 有効 ☒ 無効 ☐ 全てのノードに設定

更新 削除

7. ノードの「編集」をクリックします。

フロー定義 - バージョン - 編集

戻る | フローコピー | バージョンコピー

フローID: flow_javaee_01

フロー名: 直線ルート[JavaEE開発モデル]

基本情報 | 参照者 | コンテンツ詳細 | ルート詳細

バージョン選択

コンテンツバージョン: 2010/01/01 から 2999/12/31 まで 有効

ルートバージョン: 2010/01/01 から 2999/12/31 まで 有効

直線ルート

編集	ノード種別	ノード名	標準から変更された設定内容
	開始ノード	Start	-
	申請ノード	Apply	-
	テンプレート置換ノード	Template replacement	-
	テンプレート開始ノード	Start template replacement	-

8. 「処理設定」をクリックします。

ノード設定

閉じる

ノード名: Apply

標準設定 | **処理設定**

申請画面	<input type="radio"/> 標準から変更する	<input checked="" type="radio"/> 標準から変更しない
一時保存画面	<input type="radio"/> 標準から変更する	<input checked="" type="radio"/> 標準から変更しない
申請(起票案件)画面	<input type="radio"/> 標準から変更する	<input checked="" type="radio"/> 標準から変更しない
再申請画面	<input type="radio"/> 標準から変更する	<input checked="" type="radio"/> 標準から変更しない
アクション動作処理	<input type="radio"/> 標準から変更する	<input checked="" type="radio"/> 標準から変更しない
ノード到達処理	<input type="radio"/> 標準から変更する	<input checked="" type="radio"/> 標準から変更しない
処理依頼メール	<input type="radio"/> 標準から変更する	<input checked="" type="radio"/> 標準から変更しない
処理依頼IMBox	<input type="radio"/> 標準から変更する	<input checked="" type="radio"/> 標準から変更しない

機能設定

ファイルの添付 ☐ 追加禁止 ☐ 削除禁止

自動催促 ☐ 有効 ☒ 無効

登録

9. 処理の名称を変更する場合、すべてのロケールの処理名を入力し、「登録」をクリックします。

処理許可	処理種別	処理名
<input checked="" type="checkbox"/>	申請	<input checked="" type="radio"/> 名称を変更する <input type="radio"/> 名称を変更しない 英語 Apply 日本語 申請 中国語 (中華人民共和国) 申請
<input checked="" type="checkbox"/>	再申請	<input type="radio"/> 名称を変更する <input checked="" type="radio"/> 名称を変更しない
<input checked="" type="checkbox"/>	引戻し	<input type="radio"/> 名称を変更する <input checked="" type="radio"/> 名称を変更しない
<input checked="" type="checkbox"/>	取止め	<input type="radio"/> 名称を変更する <input checked="" type="radio"/> 名称を変更しない
<input checked="" type="checkbox"/>	起票	<input type="radio"/> 名称を変更する <input checked="" type="radio"/> 名称を変更しない

登録

ベクトルデータベースのテキスト格納先の追加

ベクトルデータベースを利用する場合、追加する言語のテキストを格納するフィールド（またはカラム）の追加が必要です。intra-mart Accel Platform が提供するベクトルデータベースでは、テキストの格納先は言語毎に定義しています。標準でサポートする日本語・英語・中国語（簡体字）の格納先は用意されていますが、新たに言語を追加した場合は、対象言語の格納先を追加する必要があります。

注意

- intra-mart Accel Platform で標準で利用可能なベクトルデータベースは Apache Solr または PostgreSQL です。
- Apache Solr をベクトルデータベースとして利用する場合は **IM-ContentsSearch** モジュール が必要です。
IM-ContentsSearch for Accel Platform を利用する場合は、Apache Solrのセットアップが必要です。Apache Solr のセットアップに関する詳細は「[Solr管理者ガイド](#)」の「[Solrのベクトル検索機能の利用](#)」を参照してください。
- PostgreSQL を利用する場合は、pgvector のインストールと拡張機能の有効化が必要です。インストール手順に関する詳細は「[intra-mart Accel Platform セットアップガイド](#)」の「[pgvector のインストール](#)」を参照してください。

コラム

ベクトルデータベースは 2024 Autumn(Jasmine) から利用可能です。

Apache Solr をベクトルデータベースとして使用する場合

ベクトルデータベースとして使用するコアのスキーマ定義に、追加する言語のテキストフィールド定義を追加する必要があります。詳細は「[Solr管理者ガイド](#)」の「[Solrのベクトル検索機能の利用](#)」を参照してください。

PostgreSQL をベクトルデータベースとして使用する場合

ベクトルデータの格納先テーブルに、追加する言語のテキストを格納するカラムを追加する必要があります。ベクトルデータベースとして使用するデータベース（テナントデータベースまたはシェアードデータベース）の `im_vector_data` テーブルに、以下のカラムを追加してください。

カラム名	データ型	NOT NULL 制約
text_[ロケールマスタのロケール ID (すべて小文字)]	TEXT	なし

- ロケールマスタにドイツ語 (de) のロケール定義を追加した場合の例：

```
ALTER TABLE im_vector_data ADD COLUMN text_de TEXT;
```



コラム

im_vector_data テーブルは、テナントの新規作成やテナント情報の更新でベクトルデータベース接続情報を登録する際に自動で作成されます。

テナントの新規作成やテナント情報の更新については「[システム管理者操作ガイド](#)」の「[テナント管理](#)」を参照してください。

- 追加する言語資材をデプロイした環境より、テナント環境セットアップ・必要に応じマスタデータを登録します。



注意

言語を追加して構築する intra-mart Accel Platform のアップデートバージョンと同じバージョンの環境に対して、言語情報の洗い出しを行う必要があります。



コラム

本書では、デプロイ先の Resin 環境下の日本語（ja）の言語情報ファイルを対象として洗い出しを行います。日本語（ja）の言語情報ファイルをコピーして追加する言語用のファイルを準備します。

モジュール共通の言語情報の洗い出し

モジュール共有で言語情報として設定されているメッセージファイル・インポートファイルを洗い出します。

メッセージファイルの洗い出し

画面上のラベル、メッセージ、サーバ上のログとして出力される言語情報が設定されているファイルです。

- メッセージ

```
%RESIN_HOME% /webapps/ %コンテキストパス% /WEB-INF/conf/message ディレクトリ配下
・ caption_ja.properties
・ log-message_ja.properties
・ message_ja.properties
・ その他、拡張子が「properties」となっている日本語（ja）の言語情報ファイル
```

- プラグイン用メッセージ

```
%RESIN_HOME% /webapps/ %コンテキストパス% /WEB-INF/plugin ディレクトリ配下
・ plugin_ja.properties
```

インポート設定ファイル（XMLファイル / SQLファイル）の洗い出し

テナント環境セットアップ時に実行されるインポートの言語情報が設定されているファイルです。

- XMLファイル

```
%RESIN_HOME% /webapps/ %コンテキストパス% /WEB-INF/storage/system/products/import/basic ディレクトリ配下
・ %モジュールID% / %任意の名称% _ja.xml
```

- SQLファイル

```
%RESIN_HOME% /webapps/ %コンテキストパス% /WEB-INF/storage/system/products/import/basic ディレクトリ配下
・ %モジュールID% / %任意の名称% _ja.sql
```

IM-Repositoryインポート資料

IM-Repository機能はSQLファイル内に3言語分のインポート資料が含まれています。

```
%RESIN_HOME% /webapps/ %コンテキストパス% /WEB-INF/storage/system/products/import/basic/im_repository/im_repository-dml_%データベース種別%.sql
```

「[モジュール共通の言語情報の洗い出し](#)」と、「[モジュール固有の言語情報の洗い出し・設定の追加](#)」の一部において、洗い出した言語資材のファイルに対して翻訳、ロケールIDの設定、ファイル名の設定を行います。

モジュール共通の言語ファイルの翻訳

洗い出した言語資材のファイルを元に追加する言語の翻訳を行います。

対象ファイル：全ファイル

コラム

本書では日本語（ja）の言語情報ファイルを対象として洗い出しをしているため、日本語から追加する言語（例として「ドイツ語」のロケール）へ翻訳します。

■変更前（日本語）

CAP.Z.IWP.SYSTEM.CERTIFICATION.COMMON.USERCODE=ユーザコード
CAP.Z.IWP.SYSTEM.CERTIFICATION.COMMON.PASSWORD=パスワード
CAP.Z.IWP.SYSTEM.CERTIFICATION.COMMON.LOGINBACK=ログイン画面へ戻る

■変更後（ドイツ語）

CAP.Z.IWP.SYSTEM.CERTIFICATION.COMMON.USERCODE=Benutzercode
CAP.Z.IWP.SYSTEM.CERTIFICATION.COMMON.PASSWORD=Passwort
CAP.Z.IWP.SYSTEM.CERTIFICATION.COMMON.LOGINBACK=Ich komme zu einem login-Bildschirm
zurück

モジュール固有の言語情報の洗い出し・設定の追加

モジュール別の言語情報の追加する言語の設定を行います。

国際化機能

「**モジュール固有の言語情報**」として、国際化機能（im_tenant）モジュール内の固有の言語情報を設定します。
【オプション】と表記されている言語情報については、利用用途に応じて洗い出し対象に含めるかについてご確認ください。

項目

- [ロケールマスタへの定義追加](#)
- [タイムゾーン地域名用メッセージの追加](#)
- [【オプション】追加する言語に応じたカレンダーIDの追加](#)
- [【オプション】日付と時刻の形式マスタの追加](#)

ロケールマスタへの定義追加

- 追加する言語を、intra-mart Accel Platform のロケール定義として追加します。
 1. %RESIN_HOME% /webapps/ %コンテキストパス% /WEB-INF/conf/locale-config/im-locale-default.xml
を参考に追加する言語用のファイルを作成します。次のように定義します。

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<locale-config
  xmlns="http://intra_mart.co.jp/system/i18n/locale/config/locale-config"
  xmlns:xsi="http://www.w3.org/2001/XMLSchema-instance"
  xsi:schemaLocation="http://intra_mart.co.jp/system/i18n/locale/config/locale-config locale-config.xsd ">
  <locale name="de">
    <encoding-name>UTF-8</encoding-name>
  </locale>
</locale-config>
```

- 作成したファイル名は既存のものと重複しないファイル名にします。

```
im-locale-de.xml
```

タイムゾーン地域名用メッセージの追加

- 追加する言語のタイムゾーン地域名用メッセージを追加します。

```
%RESIN_HOME% /webapps/ %コンテキストパス% /WEB-INF/conf/message/platform/i18n/timezone/region ディレクトリ
・caption_ja.properties
```



コラム

言語とタイムゾーンは直接関連するものではないため、本書ではタイムゾーン自体に関する説明は割愛しています。

【オプション】追加する言語に応じたカレンダーIDの追加

- 新しくテナントを構築し初回のテナント環境セットアップを実行時に、選択した言語（ロケール）に応じたカレンダーをテナントが持つカレンダーとして設定します。



コラム

言語（ロケール）とカレンダーの設定を行った場合、次のような動作が可能となります。

例：

まず前提条件として、

運用開始前に新しい言語として「ドイツ語」、この言語に応じたカレンダーとして「英語」のカレンダーIDを設定します。

テナント環境セットアップにおいて、テナントのロケールを「ドイツ語」として選択し実行します。

その後の運用において、一般ユーザ自身のロケールが設定されていなかった場合、一般ユーザがカレンダーを参照すると、このロケール（「ドイツ語」）に応じたカレンダーが表示されます。テナントのロケールとなる「ドイツ語」が適用されます。



注意

運用開始後に言語を追加する場合には、無効な設定となります（対応の必要はありません）。

- 次のファイルを編集します。

```
%RESIN_HOME% /webapps/ %コンテキストパス% /WEB-INF/jssp/platform/src/system/initialsettings/ajax ディレクトリ
・admin_and_tenant_register.js
```

- L.31 に追加する言語に対応するカレンダーIDを設定します。

i コラム

本書では「ドイツ語」カレンダーは作成しません。

したが以下例では、「ドイツ語」のロケールに対し既存のカレンダーである「英語カレンダー」を追加します。

```
function getDefaultTenantInfoByLocale(locale) {
  // ロケールに応じたカレンダーIDを取得
  let calendarId = ({
    'ja': 'JPN_CAL',
    'en': 'USA_CAL',
    'zh_CN': 'PRC_CAL'
    'de': 'USA_CAL'
  })[locale];
}
```

3. 編集したファイルを任意のディレクトリに保存します。このファイルは、後の章でユーザモジュールとして組み込みます。

【オプション】日付と時刻の形式マスタの追加

- 追加する言語のフォーマットセット設定を行います。

! 注意

日時表示形式はフォーマットセットという単位で扱います。

フォーマットセットは intra-mart Accel Platform の初期状態では各言語ごとに1つずつ設定されています。

追加する言語に対してのフォーマットセットの追加を行う場合、次の設定ファイルに対して追加の設定が必要となります。

```
%RESIN_HOME% /webapps/ %コンテキストパス% /WEB-INF/conf/date-time-format-config ディレクトリ
・ im-date-time-format-config_ja.xml
```

1. 追加する言語に対応するフォーマットセットを追加します。

```
%RESIN_HOME% /webapps/ %コンテキストパス% /WEB-INF/conf/date-time-format-config ディレクトリ
・ im-date-time-format-config_ja.xml
```

2. メニュー「テナント管理」-「テナント情報」-「日付と時刻の形式」設定画面において「形式の切り替え」のフォーマットセットを

選択するプルダウンとして表示するキャプションを各言語ファイルに対し設定します。

※im-date-time-format-config_ja.xmlファイルに、ドイツ形式のフォーマットセットを追加する場合

```
### Format set name ###
CAP.Z.IWP.I18N.DATETIMEFORMAT.SET.EN.BASE=英語形式
CAP.Z.IWP.I18N.DATETIMEFORMAT.SET.JA.BASE=日本語形式
CAP.Z.IWP.I18N.DATETIMEFORMAT.SET.ZHCN.BASE=中国語（簡体字）形式
CAP.Z.IWP.I18N.DATETIMEFORMAT.SET.DE.BASE=ドイツ形式
```

UI基本

「モジュール固有の言語情報」として、UI基本（im_ui）モジュール内の固有の言語情報を設定します。

項目

- UI部品共通
 - メッセージファイル（標準ファイル）の追加
 - メッセージファイル（最小化ファイル）の追加
- リッチテキストボックス
 - TinyMCE 言語ファイルの追加

UI部品共通

メッセージファイル（標準ファイル）の追加

- 追加する言語分のメッセージに置き換えます。

```
%RESIN_HOME% /webapps/ %コンテキストパス% /ui/js/i18n ディレクトリ
・ imui-ja.js
```

メッセージファイル（最小化ファイル）の追加

- 追加する言語分のメッセージに置き換えます。

```
%RESIN_HOME% /webapps/ %コンテキストパス% /ui/js/i18n ディレクトリ
・ ui/js/i18n/imui-ja.min.js
```

リッチテキストボックス

TinyMCE 言語ファイルの追加

- 追加する言語分のメッセージに置き換えます。

```
%RESIN_HOME% /webapps/ %コンテキストパス% /csjs/libs/tinymce/js/tinymce/langs ディレクトリ
・ ja.js
```



コラム

リッチテキストボックスで追加の言語を有効にするには、モジュール共通のメッセージファイル内に、対象言語のロケールIDが定義されている必要があります。

以下の点を事前にご確認ください。

- ・ 該当するメッセージファイルが作成されていること

```
%RESIN_HOME% /webapps/ %コンテキストパス% /WEB-INF/conf/message/platform/i18n/locale ディレクトリ
・ caption_${追加する言語のロケールID}.properties
```

- ・ メッセージファイル内に、追加したい言語のロケールIDが正しく定義されていること

```
CAP.Z.IWP.UI.TAG.RICHTEXTBOX.SCRIPT.LANGUAGE.CODE=${追加する言語のロケールID}
```

メールモジュール

「モジュール固有の言語情報」として、メールモジュール（im_javamail）モジュール内の固有の言語情報を設定します。

項目

- メール送信時の文字コードの設定

メール送信時の文字コードの設定

- 追加する言語分のメッセージに置き換えます。

```
%RESIN_HOME% /webapps/ %コンテキストパス% /WEB-INF/conf/javamail-config ディレクトリ
・javamail-config_ja.xml
```

パスワードリマインダ

「モジュール固有の言語情報」として、パスワードリマインダ（im_password_reminder）モジュール内の固有の言語情報を設定します。

項目

- リマインダメールのメールテンプレートの設定

リマインダメールのメールテンプレートの設定

- 追加する言語分のメッセージに置き換えます。

```
%RESIN_HOME% /webapps/ %コンテキストパス% /WEB-INF/conf/mail_template ディレクトリ
・password_reminder_ja.xml
```

TERASOLUNA Server Framework for Java (5.x)

「モジュール固有の言語情報」として、TERASOLUNA Server Framework for Java (5.x)（im_framework_tgfw）モジュール内の固有の言語情報を設定します。

項目

- hibernate-validatorで使用するメッセージファイルの設定

hibernate-validatorで使用するメッセージファイルの設定

- %CONTEXT_PATH%/WEB-INF/lib/hibernate-validator-*.jar に言語資材（メッセージプロパティファイル）が含まれています。

```
/org/hibernate/validator/ValidationMessages_ %ロケールID% .properties
```



コラム

TERASOLUNA Server Framework for Java (5.x) for Accel Platformに同梱されている**hibernate-validator.jar**には、次の言語情報が含まれています。

```
cs (チェコ語)
de (ドイツ語)
en (英語)
es (スペイン語)
fr (フランス語)
hu (ハンガリー語)
ko (韓国語)
mn_MN (モンゴル語 [モンゴル])
pt_BR (ポルトガル語 [ブラジル])
tr (トルコ語)
zh_CN (中国語 [中華人民共和国])
```

日本語 (ja) のメッセージプロパティファイルは含まれていないため、製品では **im_tgfw_common** モジュールにて提供されています。

言語を追加する場合、**hibernate-validator.jar** の中に対応する言語のプロパティファイルが存在するかを確認し、存在していなければ

ロケールサフィックスを付与したメッセージプロパティファイルを追加する必要があるため、このファイルを言語資材として洗い出します。

```
/org/hibernate/validator/ValidationMessages_ja.properties
```

IM-Mobile Framework

「**モジュール固有の言語情報**」として、IM-Mobile Framework (im_mobile_framework) モジュール内の固有の言語情報を設定します。

項目

- [メッセージファイル（標準ファイル）の追加](#)
- [メッセージファイル（最小化ファイル）の追加](#)

メッセージファイル（標準ファイル）の追加

- 追加する言語分のメッセージに置き換えます。

```
%RESIN_HOME% /webapps/ %コンテキストパス% /smart/js/i18n ディレクトリ
・ smart-ja.js
```

メッセージファイル（最小化ファイル）の追加

- 追加する言語分のメッセージに置き換えます。

```
%RESIN_HOME% /webapps/ %コンテキストパス% /smart/js/i18n ディレクトリ
・ smart/js/i18n/smart-ja.min.js
```

IM-FileExchange（ファイル共有機能）

「**モジュール固有の言語情報**」として、IM-FileExchange (im_file_exchange) モジュール内の固有の言語情報を設定します。

項目

- ファイルアップロード通知メールのメールテンプレートの設定
- ダウンロードパスワード通知メールのメールテンプレートの設定
- ファイルダウンロード通知メールのメールテンプレートの設定

ファイルアップロード通知メールのメールテンプレートの設定

- 追加する言語分のメッセージに置き換えます。

```
%RESIN_HOME% /webapps/ %コンテキストパス% /WEB-INF/conf/mail_template/file_exchange ディレクトリ
・ upload_notice_ja.xml
```

ダウンロードパスワード通知メールのメールテンプレートの設定

- 追加する言語分のメッセージに置き換えます。

```
%RESIN_HOME% /webapps/ %コンテキストパス% /WEB-INF/conf/mail_template/file_exchange ディレクトリ
・ download_password_notice_ja.xml
```

ファイルダウンロード通知メールのメールテンプレートの設定

- 追加する言語分のメッセージに置き換えます。

```
%RESIN_HOME% /webapps/ %コンテキストパス% /WEB-INF/conf/mail_template/file_exchange ディレクトリ
・ download_notice_ja.xml
```

IM共通マスタ

「**モジュール固有の言語情報**」として、IM共通マスタ（im_master）モジュール内の固有の言語情報を設定します。

項目

- 【オプション】 共通検索のキーワード検索用XMLファイルの設定

【オプション】 共通検索のキーワード検索用XMLファイルの設定

- 日本語ロケール時のキーワード検索を、追加する言語用に設定します。

ユーザ検索

検索基準日: 2014/02/10 ロケール: 日本語 ☐ : 有効なもののみ表示

キーワード

検索キーワードを入力してください。

☒ 名前 ☒ コード ☒ フリガナ

☒ 前方一致 ☐ 完全一致 ☐ 部分一致

検索

あ行	あ	い	う	え	お
か行	か	き	く	け	こ
さ行	さ	し	す	せ	そ
た行	た	ち	つ	て	と
な行	な	に	ぬ	ね	の
は行	は	ひ	ふ	へ	ほ
ま行	ま	み	む	め	も
や行	や		ゆ		よ
ら行	ら	り	る	れ	ろ
わ行	わ				

決定



コラム

この設定を行わない場合、次のような検索画面が表示されます。

User search

Search reference date: 2014/02/10 Locale: English ☐ : Display valid items only

Keyword

Enter the search keyword.

☒ Name ☒ Code ☒ Name to search

☒ Prefix match ☐ Perfect match

☐ Partial match

Search

Select

明示的に追加する言語用の設定を行った場合、次のような検索画面が表示されます。



注意

追加した言語のIM共通マスタのプロファイル情報が設定されていないと検索できません。

- 追加する言語用に設定を行う場合、追加する言語分のメッセージに置き換えます。

```
%RESIN_HOME% /webapps/ %コンテキストパス% /WEB-INF/storage/public/im_master/search/ ディレクトリ
・ initial_ja.xml
```



注意

2017 Spring(Portland) 以前のバージョンでは、正しく検索が行われない可能性があります。
以下の設定を行うことで事象を回避できます。

initial_ja.zip のダウンロード・解凍を行い、下記のフォルダにinitial_ja.xmlを配置します。

```
%PUBLIC_STORAGE_PATH%/public/storage/default/im_master/search
```

IM-Workflow

「モジュール固有の言語情報」として、IM-Workflow (im_workflow) モジュール内の固有の言語情報を設定します。
【オプション】と表記されている言語情報については、利用用途に応じて洗い出し対象に含めるかについてご検討ください。

項目

- メールテンプレートファイルの追加
- IMBoxメッセージテンプレートファイルの追加
- 【オプション】「ワークフロー管理者」がメンテナンスする設定ファイルの追加



コラム

本書では日本語 (ja) の言語情報ファイルを対象として洗い出しを行います。

メールテンプレートファイルの追加

- 追加する言語分のメッセージに置き換えます。

```
%RESIN_HOME% /webapps/ %コンテキストパス% /WEB-INF/storage/system/products/import/basic/im_workflow/template/mail ディレクトリ
・ act_ja.xml
・ autopress_ja.xml
・ confirm_ja.xml
・ negotiation_ja.xml
・ processing_ja.xml
・ reference_ja.xml
・ result_ja.xml
・ transfer_ja.xml
```

IMBoxメッセージテンプレートファイルの追加

- 追加する言語分のメッセージに置き換えます。

```
%RESIN_HOME% /webapps/ %コンテキストパス% /WEB-INF/storage/system/products/import/basic/im_workflow/template/imbox ディレクトリ
・ act_ja.xml
・ autopress_ja.xml
・ confirm_ja.xml
・ negotiation_ja.xml
・ processing_ja.xml
・ reference_ja.xml
・ result_ja.xml
・ transfer_ja.xml
```

【オプション】「ワークフロー管理者」がメンテナンスする設定ファイルの追加

- 「サイトマップ」 - 「ワークフロー」 - 「ワークフロー管理者」 - 「ワークフローパラメータ」画面内に表示される各設定に対する説明について、必要に応じて追加する言語分のキャプションを追加します。

```
storage/system/products/import/basic/im_workflow/template/param/param_group.xml
storage/system/products/import/basic/im_workflow/template/param/param_stamp.xml
storage/system/products/import/basic/im_workflow/template/param/validate_group.xml
```

IMBox

「モジュール固有の言語情報」として、IMBox モジュール内の固有の言語情報を設定します。

項目

- メールテンプレートファイル



コラム

本書では日本語（ja）の言語情報ファイルを対象として洗い出しを行います。

メールテンプレートファイル

- 追加する言語分のメッセージに置き換えます。

%RESIN_HOME% /webapps/ %コンテキストパス% /WEB-INF/conf/mail_template/jp.co.intra_mart.imbox/group ディレクトリ

- ・ add_group_member_ja.xml
- ・ add_owner_ship_ja.xml
- ・ approve_join_ja.xml
- ・ deny_join_ja.xml
- ・ edit_group_ja.xml
- ・ remove_group_ja.xml
- ・ remove_membership_ja.xml
- ・ send_invitation_ja.xml

%RESIN_HOME% /webapps/ %コンテキストパス% /WEB-INF/conf/mail_template/jp.co.intra_mart.imbox/message ディレクトリ

- ・ direct_message_ja.xml
- ・ edit_direct_message_ja.xml
- ・ edit_mybox_ja.xml
- ・ edit_notice_ja.xml
- ・ edit_reply_ja.xml
- ・ follow_ja.xml
- ・ like_ja.xml
- ・ new_mybox_ja.xml
- ・ notice_ja.xml
- ・ remove_message_ja.xml
- ・ reply_ja.xml
- ・ send_me_ja.xml

%RESIN_HOME% /webapps/ %コンテキストパス% /WEB-INF/conf/mail_template/jp.co.intra_mart.imbox/owner ディレクトリ

- ・ join_ja.xml
- ・ leave_ja.xml
- ・ request_join_ja.xml

ViewCreator

「**モジュール固有の言語情報**」として、ViewCreator (viewcreator) モジュール内の固有の言語情報を設定します。

項目

- [【オプション】ViewCreator固有の日付フォーマット設定](#)
- [【オプション】テーブル定義の追加](#)
 - [テーブル定義の追加方法](#)

[【オプション】ViewCreator固有の日付フォーマット設定](#)

- 追加する言語の日付フォーマットを設定します。

%RESIN_HOME% /webapps/ %コンテキストパス% /WEB-INF/conf ディレクトリ

- ・ viewcreator-config.xml

[【オプション】テーブル定義の追加](#)

ViewCreatorでは、テーブル定義（テーブルの論理名と説明、カラムの論理名と説明）を画面表示や「[SQLビルダ アシスタント](#)」でのSQL生成時に使用します。

[テーブル定義の追加方法](#)

- 追加する言語のテーブル定義を設定します。具体的な設定手順は、「[テーブルの拡張情報の設定](#)」を参照してください。

ロケールIDの変更

言語資料の中にはロケールIDの指定が必要なものがあります。

洗い出した言語資料のファイル内にロケール指定が存在している場合、追加する言語のロケールIDに変更してください。

対象ファイル：メッセージファイル、XMLファイル、pluginファイルなど



コラム

本書では日本語（ja）の言語情報ファイルを対象として洗い出しをしているため、日本語から追加する言語（例として「ドイツ語」のロケール）へ変更します。

■変更前（日本語）

```
<name locale="ja">ユーザコード</name>
```

■変更後（ドイツ語）

```
<name locale="de">Benutzercode</name>
```

ファイル名の変更

言語資料の中にはロケールIDをファイル名として設定する必要があります。

洗い出した言語資料のファイル名にロケール指定が存在している場合、追加する言語のロケールIDに変更してください。

対象ファイル：メッセージプロパティファイル、Storage配下のインポート資料、pluginファイルなど



コラム

本書では日本語（ja）の言語情報ファイルを対象として洗い出しをしているため、日本語から追加する言語（例として「ドイツ語」のロケール）へ変更します。

■変更前（日本語）

```
caption_ja.properties
```

■変更後（ドイツ語）

```
caption_de.properties
```

「[モジュール共通の言語情報の洗い出し](#)」より、追加する言語情報を作成します。

追加する言語資材のモジュール化

翻訳した言語資材を「ユーザモジュール」として作成します。

ここでは、データベース等へのマスタ投入（テナント環境セットアップ）を行うためのインポート設定ファイルも作成します。

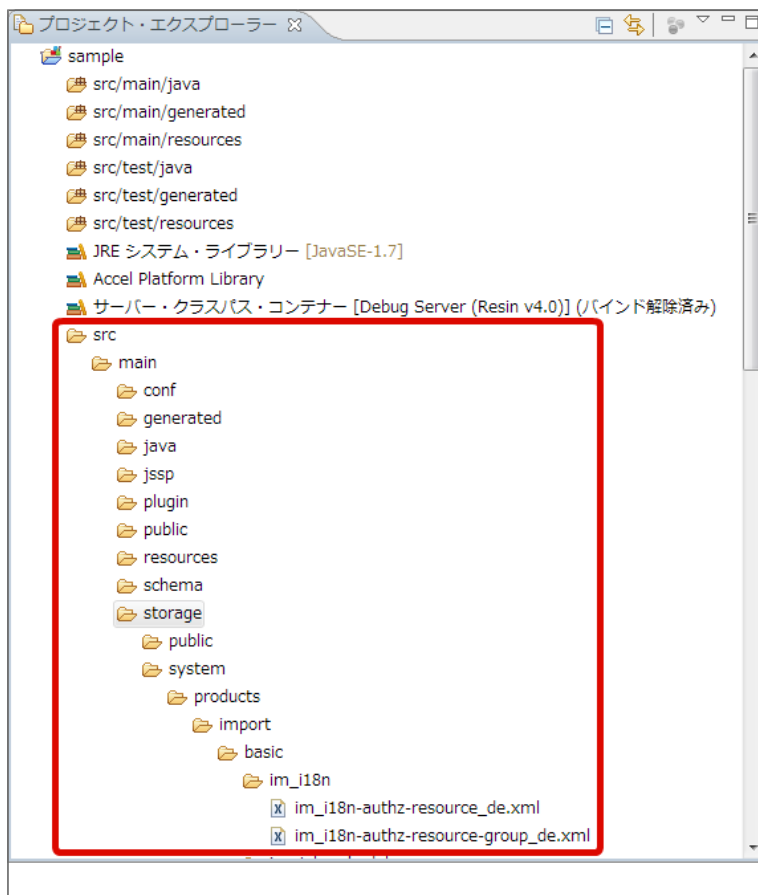
1. e Builder で追加言語用のモジュールのプロジェクトを作成します。



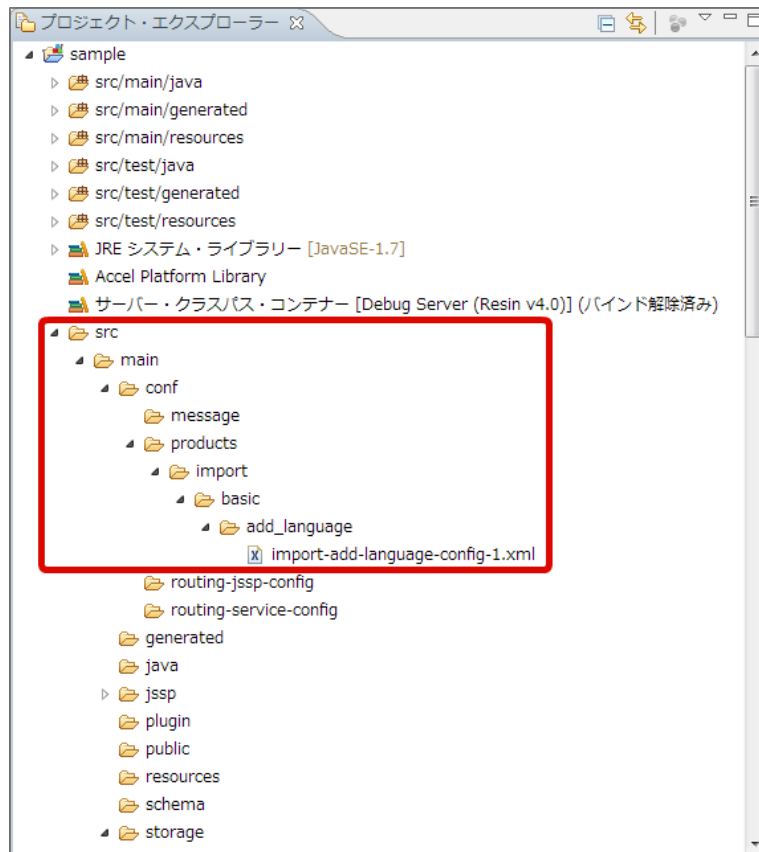
コラム

e Builder におけるモジュールの作成方法の基本操作については、「[intra-mart e Builder for Accel Platform アプリケーション開発ガイド](#)」-「[モジュール・プロジェクト作成](#)」を参照してください。

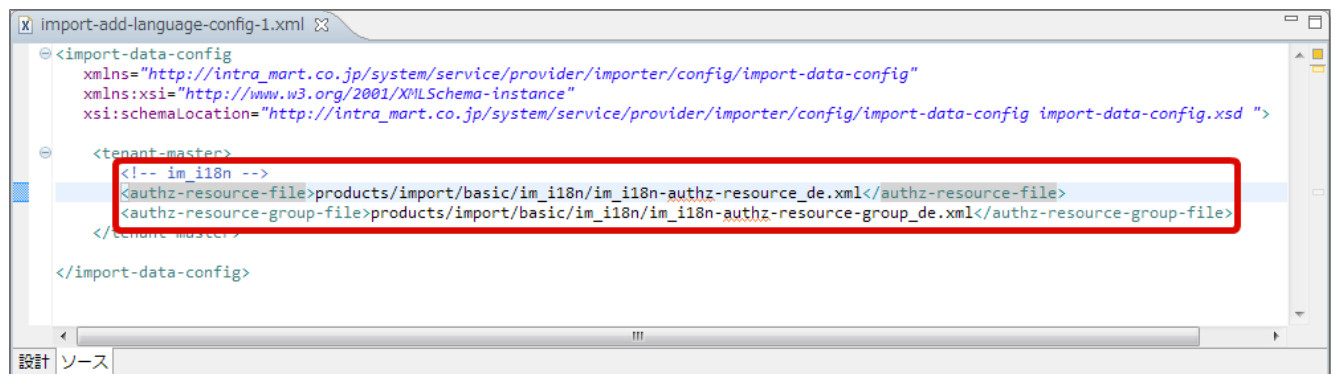
2. 前項で作成した **追加する言語ファイル** をインポート資材として配置します。
テナント環境セットアップ資材（SQLファイルやXMLファイル）の追加する言語ファイルをシステムストレージ「src/main/storage/system」配下の任意の位置へ配置します。



3. **インポート定義ファイル** を作成します。
「src/main/conf/products/import/basic/ %モジュールID% /import_%モジュールID% -config-1.xml」を作成します。



4. システムストレージに配置したファイルのパスを インポート定義ファイル に追加します。



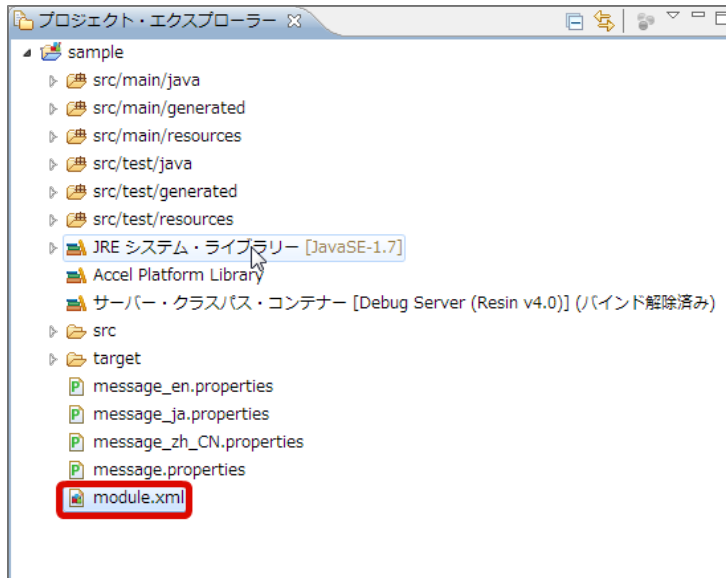
コラム

詳細は「テナント環境セットアップ 仕様書」-「テナント環境セットアップ」を参照してください。

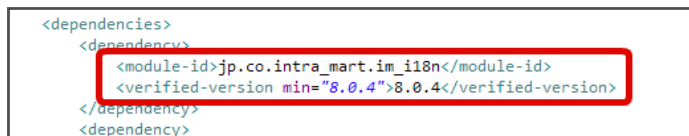
5. 依存関係を指定します。

注意

製品で提供されているモジュール内のファイルに対して設定を変更した場合、**module.xml** ファイルに依存関係を指定する必要があります。

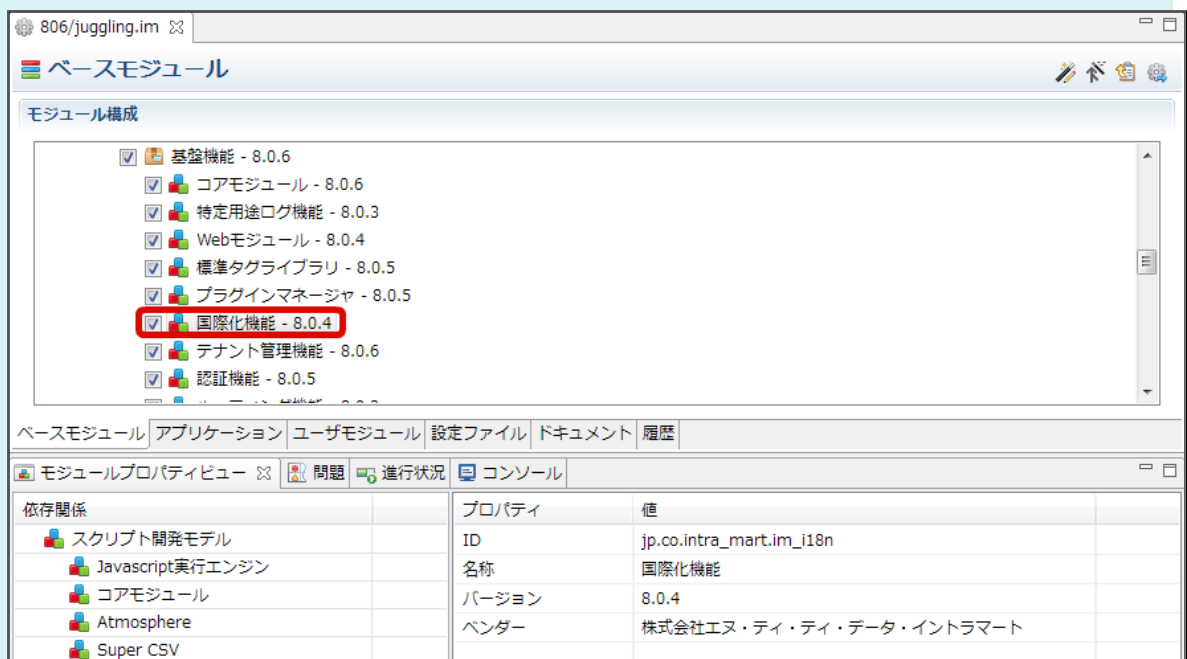


プロジェクト直下にある、**module.xml** を開き、次のように既存のモジュールのバージョンに対して、依存関係を指定します。



コラム

各モジュールのバージョンは、IM-Juggling 上から確認できます。



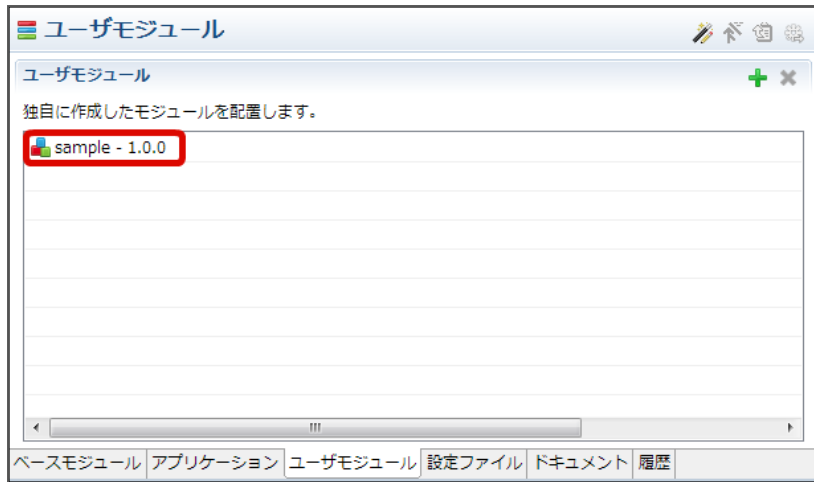
- ユーザモジュールを作成します。
ユーザモジュールを **immファイル** としてエクスポートします。



コラム

詳細は「intra-mart e Builder for Accel Platform アプリケーション開発ガイド」- 「intra-mart e Builder for Accel Platform アプリケーション開発ガイド / immファイルのエクスポート」を参照してください。

- 作成した ユーザモジュール (**immファイル**) を IM-Juggling を利用し、
言語を追加したい環境のプロジェクトに追加し、**WARファイル** (または静的コンテンツ) を出力します。



i コラム

【補足】製品のアップデートによる差分の翻訳資材を反映させる場合

intra-mart Accel Platform のアップデートを行う場合、アップデートによって発生する差分データを初回で作成したユーザモジュールのアップデート（差分を作成）版として再利用する事が可能です。

！ 注意

前提として、前項で説明した翻訳資材の洗い出しについて、アップデート前後の差分を洗い出す必要があります。

1. 初回で作成したモジュール設定ファイル（module.xml）内のユーザモジュール自体のバージョンをインクリメントします。
例：“1” → “2”
2. 同モジュール設定ファイル（module.xml）内で既存モジュールへ依存関係を指定している場合、アップデートしたモジュールのバージョン番号に変更する必要があります。

！ 注意

前回実行したモジュールのバージョンのままとなっていると正常に動作しない可能性があります。

1. システムストレージ「src/main/storage/system」配下の任意の位置（既存のインポートファイルとは別のディレクトリ、ファイル名として配置）へ、追加する言語のアップデート（差分データ）分のテナント環境セットアップ資材（追加言語用のファイル）を追加します。
2. 差分追加用のインポート定義ファイルを作成します。
「src/main/conf/products/import/basic/{モジュールID}/{モジュールID}-config-2.xml」を作成します。
※（スキーマバージョンを“2”）として定義します。
3. システムストレージに配置したファイルのパスを 差分追加用のインポート定義ファイル に追加します。

上記を行う事で、追加する言語用の資材を1つのユーザモジュールとして管理する事が可能です。

製品版のテナント環境セットアップが完了した後に、追加する言語のユーザモジュールのみ後からセットアップすることも可能です。

テナント環境セットアップの実施

テナント環境セットアップを実行してユーザモジュール内の言語情報をインポートします。

WARファイルの再デプロイ

事前に前項で作成したWARファイルの再デプロイを行う必要があります。



コラム

再デプロイの方法については、
「[intra-mart Accel Platform セットアップガイド](#)」 - 「[WARファイルのアンデプロイ](#)」・「[WARファイルの再デプロイ](#)」を参照してください。

テナント環境セットアップの実施

Web Application Server を起動後、テナント環境セットアップを実施します。
製品のテナント環境セットアップが既に完了していない場合、または、完了している場合のどちらでも実行可能です。



コラム

詳細は「[intra-mart Accel Platform セットアップガイド](#)」 - 「[テナント環境セットアップ](#)」を参照してください。



注意

テナント環境セットアップ 途中でエラーが発生した場合、
前項で作成した ユーザモジュール の作成方法に誤りが有る可能性があります。

次の点について確認をしてください。

- ・インポート定義ファイル で設定したインポートファイルが存在していない。パスに誤りがある。
- ・XMLインポートファイル ファイル内のスキーマ定義に誤りがある（存在しない要素を指定している）。
- ・XMLインポートファイル ファイル内のロケールIDの指定に誤りがある。変更が漏れている。
- ・SQLファイル ファイル内のSQL文に誤りがある。
- ・その他については、「[intra-mart Accel Platform セットアップガイド](#)」 - 「[セットアップで困ったら・・・](#)」を参照してください。

各種マスタ登録（IM-Workflowを利用する場合）

IM-Workflowを利用する場合、次のマスタ登録画面より追加する言語データの登録が必要です。



注意

言語を追加する場合、次の2パターンに分かれます。

- intra-mart Accel Platform の初期構築と同時に言語を追加する場合
- 運用途中から言語を追加する場合

どちらの場合も、前項で説明したメッセージ、XMLファイル等の追加の他に、テナント環境セットアップ後に、各管理者画面から登録したユーザ・組織・ワークフローデータを追加する必要があります。

アクセスセキュリティ情報の補完

アクセスセキュリティ情報に対して、次のマスタデータに対し追加する言語データを追加登録する必要があります。

対象情報	項目
ロール ※1	表示名（国際）

※1. IM-Workflow のルート定義のノードに対して、処理対象者として設定している情報の場合、国際化情報設定は必須です。すべてのロールに対して国際化情報が登録されている状態での運用を推奨します。

上記項目の設定方法は以下の通りです。

1. 「サイトマップ」→「テナント管理」→「ロール」をクリックします。
2. ロール一覧で編集対象のロールの「編集」をクリックします。

ロール一覧

新規登録

検索条件にカテゴリとロール名を指定することができます。

▼ 検索 クリア

編集	ユーザコード	カテゴリ	ロール名	表示名
		im_workflow	im_workflow_manager	IM-Workflow 管理者
		im_workflow	im_workflow_operator	IM-Workflow 運用管理者
		im_workflow	im_workflow_user	IM-Workflow ユーザ

1 ページ中 1 ページ目 10 3件中 1 - 3 を表示

3. 表示名のロケール分の名称をすべて入力します。

ロール編集

ロール情報

ロールID * im_workflow_user

ロール名 * im_workflow_user

カテゴリ im_workflow

表示名 *

日本語 *	IM-Workflow ユーザ
英語	IM-Workflow User
中国語 (中華人民共和国)	IM-Workflow 用户

サブロール

サブロールを探索して追加 チェックしたサブロールを削除

サブロール一覧

ロール名	表示名
------	-----

0 ページ中 1 ページ目 5 表示するレコードがありません

備考

更新 削除

4. 「更新」をクリックして更新します。

ロール編集

ロール情報

ロールID * im_workflow_user

ロール名 * im_workflow_user

カテゴリ im_workflow

表示名 *

日本語 *	IM-Workflow ユーザ
英語	IM-Workflow User
中国語 (中華人民共和国)	IM-Workflow 用户

サブロール

サブロールを探索して追加 チェックしたサブロールを削除

サブロール一覧

ロール名	表示名
------	-----

0 ページ中 1 ページ目 5 表示するレコードがありません

備考

更新 削除

IM共通マスタ情報に関して、下記の項目を設定する必要があります。下記項目は、IM共通マスタの国際化対応情報のうち、IM-Workflow を動作させるための最低限必須となるマスタについて記載しています。

下記で記載のない任意項目については、適宜、マスタメンテナンスを行ってください。（例：マスタ情報の備考など）

対象情報	項目
ユーザ ※1	ユーザプロフィール 他ロケール設定
組織 ※1	組織名 他ロケール設定
会社 ※2	会社名 他ロケール設定
役職 ※2	役職名 他ロケール設定
パブリックグループ ※2	パブリックグループ名 他ロケール設定
パブリックグループ・役割 ※2	パブリックグループ名・役割名 他ロケール設定

※1. IM-Workflow の処理実行時に登録される、処理実行者名や処理実行組織名として利用されます。これらの情報はインストールされている全言語分必ず登録されている必要があります。

※2. IM-Workflow のルート定義のノードに対して、処理対象者として設定している情報の場合、国際化情報設定は必須です。対象者として設定されるマスタ情報は、ルート定義で設定した対象のみではなく、「動的承認ノード」や「横配置ノード」、「縦配置ノード」で処理者が設定する場合もあるため、すべてのマスタ情報に対して国際化情報が登録されている状態での運用を推奨します。

上記項目の設定方法は以下の通りです。

■ ユーザ

1. 「サイトマップ」→「共通マスタ」→「マスタメンテナンス」→「ユーザ」をクリックします。
2. 「検索」をクリックして一覧を表示します。

3. 対象のユーザの「編集」をクリックします。

ユーザ検索

ユーザの新規登録

基準日 2014/06/16 ロケール 日本語

基本 アカウント

所属対象 ☒ 組織 ☐ パブリックグループ

所属 _____

☒ 下位階層も検索する









キーワード _____

対象 ☒ コード ☒ 名前 ☐ フリガナ

☒ 無効なものも検索対象にする

検索 クリア

<< 1 - 10 / 13 >>

編集	コード	表示名
	tenant	tenant
	ueda	上田辰男
	aoyagi	青柳辰巳
	hayashi	林政義
	maruyama	円山益男
	sekine	関根千香
	terada	寺田雅彦
	yoshikawa	吉川一哉
	ohiso	大磯博文
	hagimoto	萩本順子

4. 「プロフィール」をクリックします。

ユーザ詳細(上田辰男)

1999/12/13 1年間表示 2000/12/12

2000/01/01 - 2000/12/31

基本 **プロフィール** アカウント ロール 組織所属 パブリックグループ所属 分類設定

ユーザコード ueda

削除 更新

5. 「他ロケール設定」をクリックします。

ユーザー詳細(上田辰男)

1999/12/13 1年間表示 2000/12/12

2000/01/01 - 2000/12/31

基本 プロファイル アカウント ロール 組織所属 パブリックグループ所属 分類設定

現在のロケール 日本語 **他ロケール設定**

性別 ☒ 男性 ☐ 女性

ユーザ名 * 上田辰男

フリガナ ウエダ タツオ

国コード

郵便番号

住所1

住所2

住所3

電話番号

内線番号

FAX番号

内線FAX番号

携帯電話番号

メールアドレス1

メールアドレス2

携帯メールアドレス

URL

備考

削除 更新

6. 日本語以外のロケールのチェックをオンにし、全ロケールの必要な情報を入力します。

国際化項目一括設定

日本語

英語 ☒ **ユーザ名 * ueda tatsuo**

フリガナ ueda tatsuo

国コード

郵便番号

住所1

住所2

住所3

電話番号

内線番号

FAX番号

内線FAX番号

携帯電話番号

メールアドレス1

メールアドレス2

携帯メールアドレス

URL

備考

中国語(中華人民共和国) ☒ **ユーザ名 * 上田辰男**

フリガナ ueda tatsuo

国コード

郵便番号

決定

**コラム**

処理依頼通知などのメール通知を利用する場合には、「メールアドレス1」にアドレスを設定していないと送信されませんので注意してください。

7. 入力が終わったら、「決定」をクリックします。

8. 「更新」をクリックして、ユーザの情報を更新します。

ユーザ詳細(上田辰男)

1999/12/13 1年間表示 2000/12/12

2000/01/01 - 2999/12/31

基本 プロファイル アカウント ロール 組織所属 パブリックグループ所属 分類設定

現在のロケール 日本語 他ロケール設定

性別 ☒ 男性 ☐ 女性

ユーザ名 * 上田辰男

フリガナ ウエダ 辰男

国コード

郵便番号

住所1

住所2

住所3

電話番号

内線番号

FAX番号

内線FAX番号

携帯電話番号

メールアドレス1

メールアドレス2

携帯メールアドレス

URL

備考

削除 更新

■ 組織

1. 「サイトマップ」→「共通マスタ」→「マスタメンテナンス」→「組織」をクリックします。
2. 左のツリーから対象の組織を右クリックし、「組織の編集」をクリックします。

組織

組織セットの新規登録 検索 役職表示 会社ソート順変更 最新情報

基準日 2014/06/16 ロケール 日本語 表示 会社名 サンプル会社 会社選択 ☐ 有効なもののみ表示

1999/12/13 1年間表示 2000/12/12

2000/01/01 - 2999/12/31

サンプル会社

サンプル部門01

組織の編集

配下に新規組織を登録

配下に未所属組織を追加

所属ユーザを追加

組織を構成から除去

組織の完全削除

サンプル部門01

所属 ユーザコード ユーザ名

maruyama	円山益男
yoshikawa	吉川一哉
katayama	片山聡

1 - 3 / 3

3. 「他ロケール設定」をクリックします。

組織詳細(サンプル部門01) 閉じる

1999/12/13 1年間表示 2000/12/12

2000/01/01 - 2999/12/31

基本 分類設定

現在のロケール 日本語 他ロケール設定

現在の会社名 サンプル会社

組織コード dept_sample_10

名称 * サンプル部門01

略称 サンプル部門01

検索名

国コード 81

郵便番号 107-0052

住所1 東京都XX区〇〇町 A-A-A

住所2 BBBビル 8F

住所3

電話番号 03-5549-2821

内線番号

FAX番号 03-5549-2816

内線FAX番号

メールアドレス1 info@intra-mart.jp

メールアドレス2

URL http://www.intra-mart.jp/

備考

削除 更新

4. 日本語以外のロケールのチェックをオンにし、すべてのロケールに必要な情報を入力します。

国際化項目一括設定 閉じる

現在の会社名 サンプル会社

日本語

英語 ☒ 先頭へ 日本語からコピー

名称 * SampleDivision01

略称 SampleDivision01

検索名

国コード 81

郵便番号 107-0052

住所1 A-A-A, 〇〇-cho, XX-ku, Tokyo

住所2 BBB Bldg 8F

住所3

電話番号 03-5549-2821

内線番号

FAX番号 03-5549-2816

内線FAX番号

メールアドレス1 info@intra-mart.jp

メールアドレス2

URL http://www.intra-mart.jp/

備考

中国語 (中華人民共和国) ☒ 先頭へ 日本語からコピー

名称 * 样例部門01

略称 样例部門01

検索名

決定

5. 他のロケールの項目の入力が終わったら、「決定」をクリックします。

国際化項目一括設定 閉じる

現在の会社名 サンプル会社

日本語

英語 ☒ 先頭へ 日本語からコピー

名称 * SampleDivision01

略称 SampleDivision01

検索名

国コード 81

郵便番号 107-0052

住所1 A-A-A, 〇〇-cho, XX-ku, Tokyo

住所2 BBB Bldg 8F

住所3

電話番号 03-5549-2821

内線番号

FAX番号 03-5549-2816

内線FAX番号

メールアドレス1 info@intra-mart.jp

メールアドレス2

URL http://www.intra-mart.jp/

備考

中国語 (中華人民共和国) ☒ 先頭へ 日本語からコピー

名称 * 样例部門01

略称 样例部門01

検索名

決定

6. 「更新」をクリックして、組織の情報を更新します。

組織詳細(サンプル部門01) 閉じる

1999/12/13 1年間表示 2000/12/12

2000/01/01 - 2999/12/31

基本 分類設定

現在のロケール 日本語 他ロケール設定

現在の会社名 サンプル会社

組織コード dept_sample_10

名称 * サンプル部門01

略称 サンプル部門01

検索名

国コード 81

郵便番号 107-0052

住所1 東京都XX区〇〇町 A-A-A

住所2 BBBビル 8F

住所3

電話番号 03-5549-2821

内線番号

FAX番号 03-5549-2816

内線FAX番号

メールアドレス1 info@intra-mart.jp

メールアドレス2

URL http://www.intra-mart.jp/

備考

更新

1. 「サイトマップ」→「共通マスタ」→「マスタメンテナンス」→「会社」をクリックします。
2. 対象の会社コードをクリックします。

会社一覧

新規作成 認可設定

会社コード、会社名を入力してください。 検索 クリア

選択済みの会社を削除

会社コード	会社名
comp_other_01	その他会社
comp_sample_01	サンプル会社

1ページ中 1 ページ目 10 2件中 1-2を表示

3. 表示されているすべてのロケールに必要な情報を入力します。

会社 - 編集

会社情報

会社コード comp_sample_01

ソートキー 0

日本語

名称 * サンプル会社

略称 サンプル会社

検索名

国コード 81

郵便番号 107-0052

住所1 東京都XX区cc町 A-A-A

住所2 BBBビル 8F

住所3

電話番号 03-5549-2821

内線番号

FAX番号 03-5549-2816

内線FAX番号

メールアドレス1 info@intra-mart.in

英語

中国語 (中華人民共和国)

更新 削除

会社 - 編集

会社情報

会社コード comp_sample_01

ソートキー 0

日本語

英語

名称 SampleCompany

略称 SampleCompany

検索名

国コード 81

郵便番号 107-0052

住所1 A-A-A, oo-cho, XX-ku, Tokyo

住所2 BBB Bldg 8F

住所3

電話番号 03-5549-2821

内線番号

FAX番号 03-5549-2816

内線FAX番号

メールアドレス1 info@intra-mart.jp

中国語 (中華人民共和国)

更新 削除

会社 - 編集

会社情報

会社コード comp_sample_01

ソートキー 0

日本語

英語

中国語 (中華人民共和国)

名称 样例公司

略称 样例公司

検索名

国コード 81

郵便番号 107-0052

住所1 東京都XX区OO町 A-A-A

住所2 BBB大楼 8F

住所3

電話番号 03-5549-2821

内線番号

FAX番号 03-5549-2816

内線FAX番号

メールアドレス1 info@intra-mart.jp

更新 削除

4. 項目の入力が終わったら、「更新」をクリックして、会社の情報を更新します。

会社 - 編集

会社情報

会社コード comp_sample_01

ソートキー 0

日本語

英語

中国語 (中華人民共和国)

名称	サンプル会社
略称	サンプル会社
検索名	
国コード	81
郵便番号	107-0052
住所1	東京都XX区XX町 A-A-A
住所2	BBB大橋 8F
住所3	
電話番号	03-5549-2821
内線番号	
FAX番号	03-5549-2816
内線FAX番号	
メールアドレス1	info@intra-mart.jp

更新 削除

■ 役職

1. 「サイトマップ」→「共通マスタ」→「マスタメンテナンス」→「組織」をクリックします。
2. 「役職表示」をクリックします。

組織

組織セットの新規登録 検索 役職表示 会社ソート順変更 最新情報

基準日 2014/06/16 ロケール 日本語 表示 会社名 サンプル会社 会社選択 有効なもののみ表示

サンプル会社

所属	ユーザコード	ユーザ名
----	--------	------

3. 会社名をクリックし、対象の役職の「編集」をクリックします。

役職

組織ツリー表示

基準日 2014/06/16 ロケール 日本語 表示 会社名 サンプル会社 会社選択 ☐ 有効なもののみ表示 最新情報

サンプル会社

サンプル会社

役職の新規登録

1 - 3 / 3

編集	役職コード	役職名
	ps001	社長
	ps002	部長
	ps003	課長

4. 「他ロケール設定」をクリックします。

役職詳細(社長)

1999/12/13 1年間表示 2000/12/12

2000/01/01 - 2999/12/31

基本

現在のロケール 日本語

現在の会社名 サンプル会社

会社コード comp_sample_01

組織セットコード comp_sample_01

組織セット名 サンプル会社

役職コード ps001

名称 * 社長

ランク * 0

備考

ソートキー * 0

他ロケール設定

削除 更新

5. 日本語以外のロケールのチェックをオンにし、必要な情報を入力します。

国際化項目一括設定

現在の会社名 サンプル会社

日本語

英語 ☒

先頭へ 日本語からコピー

名称 * CEO

備考

中国語 (中華人民共和国) ☒

先頭へ 日本語からコピー

名称 * 总经理

備考

決定

6. 項目の入力が終わったら、「決定」をクリックします。

国際化項目一括設定

現在の会社名 サンプル会社

日本語

英語 ☒

先頭へ 日本語からコピー

名称 * CEO

備考

中国語 (中華人民共和国) ☒

先頭へ 日本語からコピー

名称 * 总经理

備考

決定

7. 「更新」をクリックして、役職の情報を更新します。

役職詳細(社長)

1999/12/13 1年間表示 2000/12/12

2000/01/01 - 2999/12/31

基本

現在のロケール: 日本語 (他ロケール設定)

現在の会社名: サンプル会社

会社コード: comp_sample_01

組織セットコード: comp_sample_01

組織セット名: サンプル会社

役職コード: ps001

名称: 社長

ランク: 0

備考:

ソートキー: 0

削除 更新

■ パブリックグループ

1. 「サイトマップ」→「共通マスタ」→「マスタメンテナンス」→「パブリックグループ」をクリックします。
2. 左のツリーから対象のパブリックグループを右クリックし、「パブリックグループの編集」をクリックします。

パブリックグループ

パブリックグループセットの新規登録 検索 役割表示 最新情報

基準日: 2014/06/16 ロケール: 日本語 表示 有効なもののみ表示

1999/12/13 1年間表示 2000/12/12

2000/01/01 - 2999/12/31

チームA

所属 ユーザコード ユーザ名

maruyama	円山益男
yoshikawa	吉川一哉
katayama	片山聡

パブリックグループの編集

配下に新規パブリックグループを登録
配下に未所属パブリックグループを追加
所属ユーザを追加
パブリックグループを構成から除去
パブリックグループの完全削除

3. 「他ロケール設定」をクリックします。

パブリックグループ詳細(チームA)

1999/12/13 1年間表示 2000/12/12

2000/01/01 - 2999/12/31

基本 分類設定

現在のロケール 日本語

パブリックグループコード public_team_a

名称 * チームA

略称 チームA

検索名

備考

ソートキー * 1

他ロケール設定

削除 更新

4. 日本語以外のロケールのチェックをオンにし、必要な情報を入力します。

国際化項目一括設定

日本語

英語 ☒

名称 * Team-A

略称 Team-A

検索名

備考

先頭へ 日本語からコピー

中国語(中華人民共和国) ☒

名称 * A隊

略称 A隊

検索名

備考

先頭へ 日本語からコピー

決定

5. 項目の入力が終わったら、「決定」をクリックします。

国際化項目一括設定

日本語

英語 ☒

先頭へ 日本語からコピー

名称 * Team-A

略称 Team-A

検索名

備考

中国語 (中華人民共和国) ☒

先頭へ 日本語からコピー

名称 * A隊

略称 A隊

検索名

備考

決定

6. 「更新」をクリックして、パブリックグループの情報を更新します。

パブリックグループ詳細(チームA)

1999/12/13 1年間表示 2000/12/12

2000/01/01 - 2999/12/31

基本 分類設定

現在のロケール 日本語 他ロケール設定

パブリックグループコード public_team_a

名称 * チームA

略称 チームA

検索名

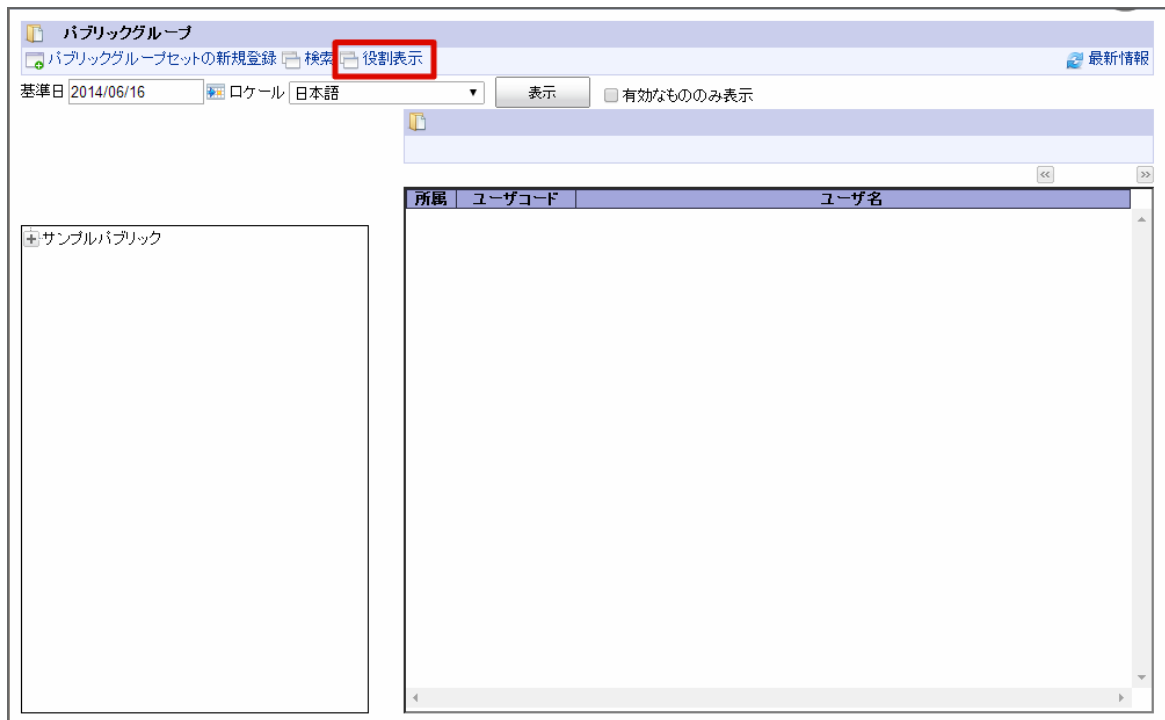
備考

ソートキー * 1

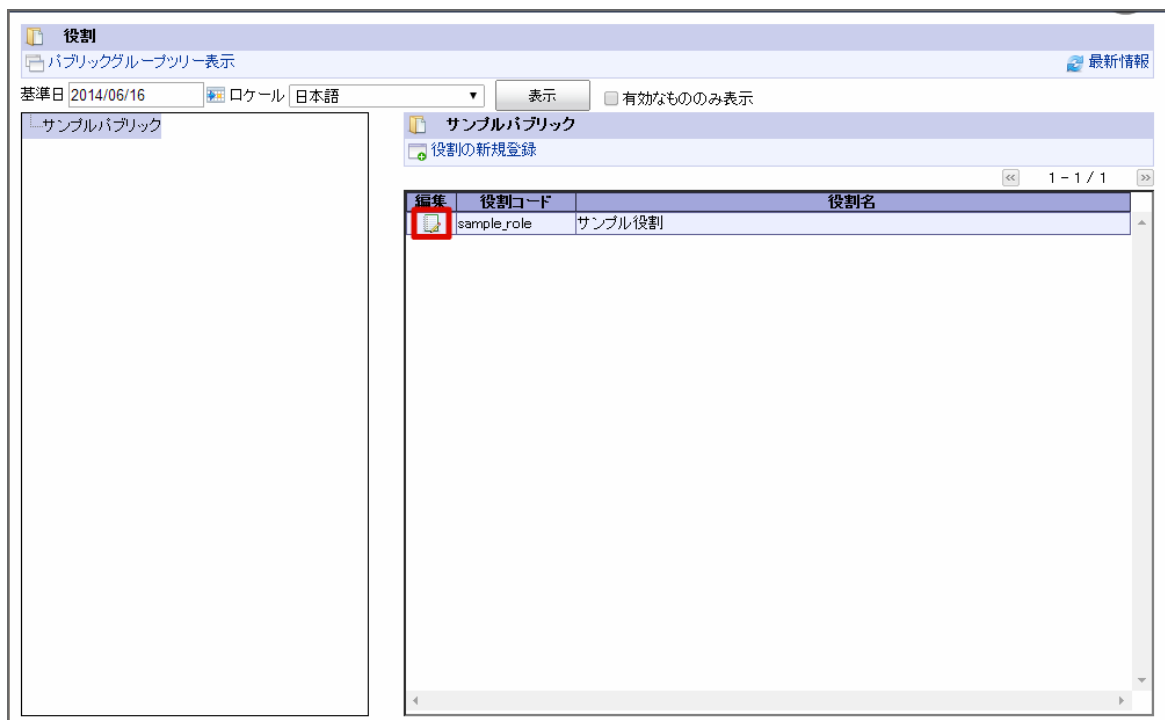
削除 更新

■ パブリックグループ・役割

1. 「サイトマップ」→「共通マスタ」→「マスタメンテナンス」→「パブリックグループ」をクリックします。
2. 「役割表示」をクリックします。



3. パブリックグループをクリックし、対象の役割の「編集」をクリックします。



4. 「他ロケール設定」をクリックします。

役割詳細(サンプル役割)

1900/01/01 1年間表示 1901/01/01

1900/01/01 - 2999/12/31

基本

現在のロケール: 日本語

パブリックグループセットコード: sample_public

パブリックグループ名称: サンプルパブリック

役割コード: sample_role

他ロケール設定

名称 * サンプル役割

ランク * 0

備考

ソートキー * 0

削除 更新

5. 日本語以外のロケールのチェックをオンにし、必要な情報を入力します。

国際化項目一括設定

日本語

英語 ☒

先頭へ 日本語からコピー

名称 * sample role

備考

中国語(中華人民共和国) ☒

先頭へ 日本語からコピー

名称 * 样的作用

備考

決定

6. 項目の入力が終わったら、「決定」をクリックします。

国際化項目一括設定

日本語

英語 ☒

先頭へ 日本語からコピー

名称 * sample role

備考

中国語 (中華人民共和国) ☒

先頭へ 日本語からコピー

名称 * 样和作用

備考

決定

7. 「更新」をクリックして、役割の情報を更新します。

役割詳細(サンプル役割)

1900/01/01 1年間表示 1901/01/01

1900/01/01 - 2999/12/31

基本

現在のロケール 日本語 他ロケール設定

パブリックグループセットコード sample_public

パブリックグループ名称 サンプルパブリック

役割コード sample_role

名称 * サンプル役割

ランク * 0

備考

ソートキー * 0

削除 更新

IM-Workflow 情報の各種マスタ登録

IM-Workflow マスタ情報に関して、下記の項目を設定する必要があります。下記項目は、IM-Workflow の国際化対応情報のうち、IM-Workflow を動作させるための最低限必須となるマスタについて記載しています。

下記で記載のない任意項目については、適宜、マスタメンテナンスを行ってください。（例：マスタ情報の備考など）

対象情報	項目
案件プロパティ定義	キー名
ルール定義	ルール名
メール定義	メール名
	件名
	本文

対象情報	項目
IMBox定義	IMBox名
	本文
メッセージ定義	メッセージ名
	件名
	本文
一覧表示パターン定義	パターン名
フローグループ定義	フローグループ名
コンテンツ定義	コンテンツ名
	画面名
	プログラム名
ルート定義	ルート名
フロー定義	フロー名
	処理名

上記項目の設定方法は以下の通りです。

■ 案件プロパティ定義

1. 「サイトマップ」→「ワークフロー」→「ワークフロー管理者」→「マスタ定義」→「案件プロパティ定義」をクリックします。
2. 対象の案件プロパティの「編集」をクリックします。

3. すべてのロケールのキー名を入力し、「更新」をクリックします。

案件プロパティ定義 - 編集

戻る コピー

キー	item_total	
キー名 (必須)	英語	Total amount
	日本語	合計金額
	中国語 (中華人民共和国)	合計金額
型 (必須)	数値 ▼	
使用種別	<input checked="" type="checkbox"/> 一覧表示項目の項目として使用する <input type="checkbox"/> メールの置換文字列として使用する <input type="checkbox"/> IMBoxの置換文字列として使用する <input checked="" type="checkbox"/> ルールの条件の変数として使用する	
表示位置	右寄せ ▼	
検索範囲	範囲検索 ▼	
備考	英語	
	日本語	
	中国語 (中華人民共和国)	

更新 削除

■ ルール定義




1. 「サイトマップ」→「ワークフロー」→「ワークフロー管理者」→「マスタ定義」→「ルール定義」をクリックします。
2. 対象のルールの「編集」をクリックします。

ルール定義

新規作成 最新情報

ルール名 ▼ 検索

1-3/3

編集	ルールID	ルール名	備考
	rule_sample_01	合計金額:10000未満	
	rule_sample_02	合計金額:10000以上50000未満	
	rule_sample_03	合計金額:50000以上	

1-3/3

3. すべてのロケールのルール名を含む各項目に必要な情報を入力し、「更新」をクリックします。

ルール定義 - 編集
[戻る](#) | [コピー](#) | [利用状況確認](#)

ルールID: rule_sample_01

ルール名(必須)

英語	Total amount: Less than 10000
日本語	合計金額: 10000未満
中国語(中華人民共和国)	合計金額: 10000不足

備考

英語	
日本語	
中国語(中華人民共和国)	

☒ すべての条件を満たすとき真
 ☐ いずれかの条件を満たすとき真

No.	キー	比較	条件値	クリア
1	合計金額 (型: 数値)	が次より小さい	<input checked="" type="radio"/> 固定 10000 <input type="radio"/> 変数 (型:)	
2	 (型:)		<input checked="" type="radio"/> 固定 <input type="radio"/> 変数 (型:)	
3	 (型:)		<input checked="" type="radio"/> 固定 <input type="radio"/> 変数 (型:)	
4	 (型:)		<input checked="" type="radio"/> 固定 <input type="radio"/> 変数 (型:)	
5	 (型:)		<input checked="" type="radio"/> 固定 <input type="radio"/> 変数 (型:)	
6	 (型:)		<input checked="" type="radio"/> 固定 <input type="radio"/> 変数 (型:)	
7	 (型:)		<input checked="" type="radio"/> 固定 <input type="radio"/> 変数 (型:)	
8	 (型:)		<input checked="" type="radio"/> 固定 <input type="radio"/> 変数 (型:)	
9	 (型:)		<input checked="" type="radio"/> 固定 <input type="radio"/> 変数 (型:)	
10	 (型:)		<input checked="" type="radio"/> 固定 <input type="radio"/> 変数 (型:)	

更新
 削除

■ メール定義

1. 「サイトマップ」→「ワークフロー」→「ワークフロー管理者」→「マスタ定義」→「メール定義」をクリックします。
2. 対象のメールの「編集」をクリックします。

メール定義 新規作成 最新情報

メール種別 | メール名 検索

編集	メールID	メール種別	メール名	備考	標準
	act	代理通知	代理通知	代理通知用の標準メールテンプレート	
	autopress	自動催促	自動催促	自動催促用の標準メールテンプレート	
	confirm	確認依頼	確認依頼	確認依頼用の標準メールテンプレート	
	negotiation	根回し	根回し	根回し用の標準メールテンプレート	
	processing	処理依頼	処理依頼	処理依頼用の標準メールテンプレート	
	reference	参照依頼	参照依頼	参照依頼用の標準メールテンプレート	
	result	処理結果通知	処理結果通知	処理結果通知用の標準メールテンプレート	
	transfer	振替通知	振替通知	振替通知用の標準メールテンプレート	

1-8/8

3. すべてのロケールのメール名、件名、本文を含む各項目に必要な情報を入力し、「更新」をクリックします。

メール定義 - 編集 戻る コピー プレビュー 利用状況確認 メール置換文字列

メールID	processing (システム標準)	
メール種別	処理依頼	
メール名 (必須)	英語	Processing request
	日本語	処理依頼
	中国語 (中華人民共和国)	处理委托
備考	英語	Standard mail template for processing request
	日本語	処理依頼用の標準メールテンプレート
	中国語 (中華人民共和国)	处理委托用标准邮件模板
差出人	{^Auth_User_Ml^}	
宛先	{^Exec_User_Ml^},{^Exec_Act_User_Ml^}	
CC	{^Comp_Org_Act_Ml^}	
BCC		
返信先の宛先	{^Auth_User_Ml^}	
件名	英語	[Workflow] Notification of processing request [{^Matter_Nm^}]
	日本語	【ワークフロー】処理依頼のお知らせ [{^Matter_Nm^}]
	中国語 (中華人民共和国)	【工作流】处理请求的通知 [{^Matter_Nm^}]
本文	英語	<p>{^Before_Proc_Nm^} is performed for the following matter by {^Auth_User_Nm^}.</p> <p>Please perform the process.</p> <p>< Execution limit > {^Auto_Exec_Limit^}</p> <p>< Comment > {^Auth_Cm^}</p> <p>下記案件が{^Auth_User_Nm^}によって{^Before_Proc_Nm^}されました。処理をお願いします。</p> <p>< 処理期限 > {^Auto_Exec_Limit^}</p> <p>< コメント > {^Auth_Cm^}</p> <p>下述案件已由{^Auth_User_Nm^}进行了{^Before_Proc_Nm^}。请进行处理。</p> <p>< 处理期限 > {^Auto_Exec_Limit^}</p> <p>< 备注 > {^Auth_Cm^}</p>
	日本語	
	中国語 (中華人民共和国)	

更新

■ 一覧表示パターン定義

1. 「サイトマップ」→「ワークフロー」→「ワークフロー管理者」→「マスタ定義」→「一覧表示パターン定義」をクリックします。
2. 対象の一覧表示パターンの「編集」をクリックします。

一覧表示パターン定義

新規作成 最新情報

対象一覧 | パターン名

1-10/10

編集	対象一覧	パターン名	備考	標準
	申請一覧	申請標準	申請標準パターン	
	一時保存一覧	一時保存標準	一時保存標準パターン	
	未処理一覧	未処理標準	未処理標準パターン	
	処理済(未完了案件)一覧	処理済(未完了)標準	処理済(未完了)標準パターン	
	処理済(完了案件)一覧	処理済(完了)標準	処理済(完了)標準パターン	
	過去案件一覧	過去案件標準	過去案件標準パターン	
	参照(未完了案件)一覧	参照(未完了)標準	参照(未完了)標準パターン	
	参照(完了案件)一覧	参照(完了)標準	参照(完了)標準パターン	
	確認(未完了案件)一覧	確認(未完了)標準	確認(未完了)標準パターン	
	確認(完了案件)一覧	確認(完了)標準	確認(完了)標準パターン	

1-10/10

3. すべてのロケールのパターン名を含む各項目に必要な情報を入力し、「更新」をクリックします。

一覧表示パターン定義 - 編集

[戻る](#) | [コピー](#)

対象一覧	申請一覧																	
パターン名 (必須)	英語	Application standard																
	日本語	申請標準																
	中国語 (中華人民共和国)	申请标准																
備考	英語	Application standard pattern																
	日本語	申請標準パターン																
	中国語 (中華人民共和国)	申请标准模式																
標準設定	<input checked="" type="checkbox"/> 設定する																	
一覧表示項目 (必須)	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div> <p>全項目一覧</p> <div style="border: 1px solid gray; height: 100px; width: 100%;"></div> <p>全選択 選択 クリア 全解除</p> </div> <div> <p>選択項目一覧</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目名</th> <th>幅</th> <th>折返し</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>申請</td> <td><input type="text"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td>フロー名</td> <td><input type="text"/></td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td>備考</td> <td><input type="text"/></td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td>フロー</td> <td><input type="text"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> </tbody> </table> <p>上へ 下へ</p> </div> </div>			項目名	幅	折返し	申請	<input type="text"/>	<input type="checkbox"/>	フロー名	<input type="text"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	備考	<input type="text"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	フロー	<input type="text"/>	<input type="checkbox"/>
	項目名	幅	折返し															
申請	<input type="text"/>	<input type="checkbox"/>																
フロー名	<input type="text"/>	<input checked="" type="checkbox"/>																
備考	<input type="text"/>	<input checked="" type="checkbox"/>																
フロー	<input type="text"/>	<input type="checkbox"/>																
初期ソート条件	<table border="1"> <thead> <tr> <th>ソート項目名</th> <th>昇順</th> <th>降順</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>フロー名</td> <td><input checked="" type="radio"/></td> <td><input type="radio"/></td> </tr> <tr> <td></td> <td><input type="radio"/></td> <td><input type="radio"/></td> </tr> <tr> <td></td> <td><input type="radio"/></td> <td><input type="radio"/></td> </tr> </tbody> </table>			ソート項目名	昇順	降順	フロー名	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>			
ソート項目名	昇順	降順																
フロー名	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>																
	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>																
	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>																

プレビュー

申請	フロー名	備考	フロー
	フロー名-フロー名	備考-備考	

■ フローグループ定義

- 「サイトマップ」→「ワークフロー」→「ワークフロー管理者」→「マスタ定義」→「フローグループ定義」をクリックします。
- 対象のフローグループをクリックします。

フローグループ定義 - 編集

新規作成

フローグループ1

フローグループ2

フローグループID: parent

親階層(必須): /

フローグループ名(必須):
英語: フローグループ1
日本語: フローグループ1
中国語(中華人民共和国): フローグループ1

備考:
英語:
日本語:
中国語(中華人民共和国):

ソートキー(必須): 0

フロー:

検索

クリア

更新

削除

3. すべてのロケールのフローグループ名を含む各項目に必要な情報を入力し、「更新」をクリックします。

フローグループ定義 - 編集

新規作成

フローグループ1

フローグループ2

フローグループID: parent

親階層(必須): /

フローグループ名(必須):
英語: フローグループ1
日本語: フローグループ1
中国語(中華人民共和国): フローグループ1

備考:
英語:
日本語:
中国語(中華人民共和国):

ソートキー(必須): 0

フロー:

検索

クリア

更新

削除

■ コンテンツ定義

- 「サイトマップ」→「ワークフロー」→「ワークフロー管理者」→「マスタ定義」→「コンテンツ定義」をクリックします。
- 対象のコンテンツの「編集」をクリックします。

コンテンツ定義

新規作成 最新情報

コンテンツ名 検索

1-3/3

編集	コンテンツID	コンテンツ名	備考
	contents_javaee	JavaEE開発モデル	
	contents_script	スクリプト開発モデル	
	sample_contents	サンプルコンテンツ	

1-3/3

3. すべてのロケールのコンテンツ名を含む各項目に必要な情報を入力し、「更新」をクリックします。

コンテンツ定義 - 編集

戻る | 利用状況確認

基本情報 バージョン

コンテンツID	contents_script		
コンテンツ名 (必須)	英語	Script development model	
	日本語	スクリプト開発モデル	
	中国語 (中華人民共和国)	脚本开发模式	
備考	英語		
	日本語		
	中国語 (中華人民共和国)		

管理グループ

検索

管理グループ名 編集権限 クリア

更新 削除

4. 「バージョン」をクリックします。

コンテンツ定義 - 編集

戻る | 利用状況確認

基本情報 **バージョン**

コンテンツID	contents_script		
コンテンツ名 (必須)	英語	Script development model	
	日本語	スクリプト開発モデル	
	中国語 (中華人民共和国)	脚本开发模式	
備考	英語		
	日本語		
	中国語 (中華人民共和国)		

管理グループ

検索

管理グループ名 編集権限 クリア

更新 削除



5. 対象のバージョンの「編集」をクリックします。

コンテンツ定義 - 編集

戻る | 利用状況確認

基本情報 バージョン

新規作成

編集	バージョン期間		備考	有効
	開始	終了		
	2010/01/01	2999/12/31		

6. 「画面」をクリックします。

コンテンツ定義 - バージョン - 編集

戻る | コンテンツコピー | バージョンコピー

コンテンツID: contents_script

コンテンツ名: スクリプト開発モデル

基本情報 **画面** ユーザプログラム メール IMBox ルール

バージョン期間(必須): 2010/01/01 から 2999/12/31 まで

バージョン有効/無効(必須): ☒ 有効 ☐ 無効

備考

英語:

日本語:

中国語(中華人民共和国):

更新 削除

7. 対象の画面の「編集」をクリックします。

コンテンツ定義 - バージョン - 編集

戻る | コンテンツコピー | バージョンコピー

コンテンツID: contents_script

コンテンツ名: スクリプト開発モデル

基本情報 **画面** ユーザプログラム メール IMBox ルール

新規作成

編集	画面名	画面種別	パス種別	備考	初期使用
	一時保存	一時保存画面	スクリプト開発モデル		
	一時保存	一時保存画面(スマートフォン用)	スクリプト開発モデル		
	過去詳細	過去案件詳細画面	スクリプト開発モデル		
	確認	確認画面	スクリプト開発モデル		
	確認	確認画面(スマートフォン用)	スクリプト開発モデル		
	確認詳細	確認詳細画面	スクリプト開発モデル		
	再申請	再申請画面	スクリプト開発モデル		
	再申請	再申請画面(スマートフォン用)	スクリプト開発モデル		
	参照詳細	参照詳細画面	スクリプト開発モデル		
	処理	処理画面(スマートフォン用)	スクリプト開発モデル		
	処理	処理画面	スクリプト開発モデル		
	処理詳細	処理詳細画面	スクリプト開発モデル		
	申請	申請画面(スマートフォン用)	スクリプト開発モデル		
	申請	申請画面	スクリプト開発モデル		
	申請(起票案件)	申請(起票案件)画面(スマートフォン用)	スクリプト開発モデル		
	申請(起票案件)	申請(起票案件)画面	スクリプト開発モデル		

8. すべてのロケールの画面名を含む各項目に必要な情報を入力し、「更新」をクリックします。

画面定義編集

コピー 閉じる

画面名(必須)

英語: Process

日本語: 処理

中国語(中華人民共和国): 处理

画面種別(必須): 処理画面

パス種別(必須): スクリプト開発モデル

スクリプトパス(必須): sample/im_workflow/purchase/screen/approve

備考

英語:

日本語:

中国語(中華人民共和国):

初期使用: ☒ フローの初期設定で使用する

更新 削除

9. 「ユーザプログラム」をクリックします。

コンテンツ定義 - バージョン - 編集

戻る | コンテンツコピー | バージョンコピー

コンテンツID: contents_script

コンテンツ名: スクリプト開発モデル

基本情報 画面 ユーザプログラム メール IMBox ルール

新規作成

編集	画面名	画面種別	パス種別	備考	初期使用
	一時保存	一時保存画面	スクリプト開発モデル		
	一時保存	一時保存画面(スマートフォン用)	スクリプト開発モデル		
	過去詳細	過去案件詳細画面	スクリプト開発モデル		
	確認	確認画面	スクリプト開発モデル		
	確認	確認画面(スマートフォン用)	スクリプト開発モデル		
	確認詳細	確認詳細画面	スクリプト開発モデル		
	再申請	再申請画面	スクリプト開発モデル		
	再申請	再申請画面(スマートフォン用)	スクリプト開発モデル		
	参照詳細	参照詳細画面	スクリプト開発モデル		
	処理	処理画面(スマートフォン用)	スクリプト開発モデル		
	処理	処理画面	スクリプト開発モデル		
	処理詳細	処理詳細画面	スクリプト開発モデル		
	申請	申請画面(スマートフォン用)	スクリプト開発モデル		
	申請	申請画面	スクリプト開発モデル		
	申請(起票案件)	申請(起票案件)画面(スマートフォン用)	スクリプト開発モデル		
	申請(起票案件)	申請(起票案件)画面	スクリプト開発モデル		

10. 対象のユーザプログラムの「編集」をクリックします。

コンテンツ定義 - バージョン - 編集

戻る | コンテンツコピー | バージョンコピー

コンテンツID: contents_script

コンテンツ名: スクリプト開発モデル

基本情報 画面 ユーザプログラム メール IMBox ルール

新規作成

編集	プログラム名	プラグイン種類	対象ノード	備考	初期使用
	案件開始処理	【案件開始処理】スクリプト開発モデル			
	案件削除(過去)処理	【過去案件削除処理】スクリプト開発モデル			
	案件削除(完了)処理	【完了案件削除処理】スクリプト開発モデル			
	案件削除(未完了)処理	【未完了案件削除処理】スクリプト開発モデル			
	案件終了処理	【案件終了処理】スクリプト開発モデル			
	案件退避処理	【案件退避処理】スクリプト開発モデル			
	承認アクション処理	【アクション処理】スクリプト開発モデル	承認ノード		
	申請アクション処理1	【アクション処理】スクリプト開発モデル	申請ノード		
	申請アクション処理2	【アクション処理】スクリプト開発モデル	申請ノード		
	分岐処理[合計金額:10000以上50000未満]	【分岐条件】スクリプト開発モデル			
	分岐処理[合計金額:10000未満]	【分岐条件】スクリプト開発モデル			
	分岐処理[合計金額:50000以上]	【分岐条件】スクリプト開発モデル			

11. すべてのロケールのプログラム名を含む各項目に必要な情報を入力し、「更新」をクリックします。

ユーザプログラム定義編集

コピー 閉じる

プログラム名(必須)	英語	Application action process 1
	日本語	申請アクション処理1
	中国語(中華人民共和国)	申請动作处理1
プラグイン種別(必須)	アクション処理	
対象ノード(必須)	申請ノード	
プラグイン種別(必須)	【アクション処理】スクリプト開発モデル	
	sample/im_workflow/purchase/action/ActionProcess1	
備考	英語	
	日本語	
	中国語(中華人民共和国)	
初期使用	<input checked="" type="checkbox"/> フローの初期設定で使用する	
実行順番(必須)	1	

更新 削除

■ ルート定義

1. 「サイトマップ」→「ワークフロー」→「ワークフロー管理者」→「マスタ定義」→「ルート定義」をクリックします。
2. 対象のルートの「編集」をクリックします。

ルート定義

新規作成 最新情報

ルート種類 | ルート名 | 検索

1-6/6

編集	ルートID	ルート名	ルート種類	備考
	route_sample_01	直線ルート	通常用	
	route_sample_02	横配置ルート	通常用	
	route_sample_03	縦配置ルート	通常用	
	route_sample_04	分岐ルート	通常用	
	route_sample_05	複合ルート	通常用	
	route_sample_temp	ルートテンプレート	テンプレート置換用	

1-6/6

3. すべてのロケールのルート名を含む各項目に必要な情報を入力し、「更新」をクリックします。

ルート定義 - 編集

戻る 利用状況確認

基本情報 バージョン

ルートID	route_sample_01	
ルート名(必須)	英語	straight route
	日本語	直線ルート
	中国語(中華人民共和国)	直线路径
ルート種類	通常用	
備考	英語	
	日本語	
	中国語(中華人民共和国)	

管理グループ

検索

管理グループ名 編集権限 クリア

更新 削除

■ フロー定義

1. 「サイトマップ」→「ワークフロー」→「ワークフロー管理者」→「マスタ定義」→「フロー定義」をクリックしま

す。

- 対象のフローの「編集」をクリックします。

フロー定義

新規作成 最新情報

フローグループ

フロー名

検索

編集	フローID	フロー名	備考
	flow_archive	アーカイブフロー	
	flow_3step	サンプルフロー1	
	flow_acyagi	サンプルフロー2	
	flow_javaee_01	直線ルート[JavaEE開発モデル]	
	flow_javaee_02	横配置ルート[JavaEE開発モデル]	
	flow_javaee_03	縦配置ルート[JavaEE開発モデル]	
	flow_javaee_04	分岐ルート[JavaEE開発モデル]	
	flow_javaee_05	複合ルート[JavaEE開発モデル]	
	flow_script_01	直線ルート[スクリプト開発モデル]	
	flow_script_02	横配置ルート[スクリプト開発モデル]	
	flow_script_03	縦配置ルート[スクリプト開発モデル]	
	flow_script_04	分岐ルート[スクリプト開発モデル]	
	flow_script_05	複合ルート[スクリプト開発モデル]	
	sample_flow	サンプルフロー	

1-14/14

- すべてのロケールのフロー名を含む各項目に必要な情報を入力し、「更新」をクリックします。

フロー定義 - 編集

戻る

基本情報 バージョン

フローID flow_javaee_01

フロー名 (必須)

英語 Straight route [JavaEE development model]

日本語 直線ルート[JavaEE開発モデル]

中国語 (中華人民共和国) 直线路径[JavaEE开发模式]

備考

英語

日本語

中国語 (中華人民共和国)

管理グループ

検索

管理グループ名

編集権限 クリア

更新 削除

- 「バージョン」をクリックします。

フロー定義 - 編集

戻る

基本情報 バージョン

フローID flow_javaee_01

フロー名 (必須)

英語 Straight route [JavaEE development model]

日本語 直線ルート[JavaEE開発モデル]

中国語 (中華人民共和国) 直线路径[JavaEE开发模式]

備考

英語

日本語

中国語 (中華人民共和国)

管理グループ

検索

管理グループ名

編集権限 クリア

更新 削除





- 対象のバージョンの「編集」をクリックします。

フロー定義 - 編集

戻る

基本情報 バージョン

新規作成

編集	バージョン期間		備考	有効	コンテンツ	ルート
	開始	終了				
	2010/01/01	2999/12/31				

6. 「ルート詳細」をクリックします。

フロー定義 - バージョン - 編集

戻る | フローコピー | バージョンコピー

フローID: flow_javaee_01


フロー名: 直線ルート[JavaEE開発モデル]


基本情報 参照者 コンテンツ詳細 **ルート詳細**



バージョン期間 (必須): 2010/01/01 から 2999/12/31 まで

バージョン有効/無効 (必須): ☒ 有効 ☐ 無効

備考: 英語, 日本語, 中国語 (中華人民共和国)

コンテンツ (必須): JavaEE開発モデル 

ルート (必須): 直線ルート 

カレンダー:   クリア

機能設定:

ファイルの添付	<input checked="" type="radio"/> 有効 <input type="radio"/> 無効
一括処理	<input checked="" type="radio"/> 有効 <input type="radio"/> 無効 <input type="checkbox"/> 全てのノードに設定
一括確認	<input checked="" type="radio"/> 有効 <input type="radio"/> 無効
完了した案件の確認	<input type="radio"/> 有効 <input checked="" type="radio"/> 無効
自動処理	<input type="radio"/> 有効 <input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="checkbox"/> 全てのノードに設定
自動催促	<input type="radio"/> 有効 <input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="checkbox"/> 全てのノードに設定

更新 削除

7. ノードの「編集」をクリックします。

フロー定義 - バージョン - 編集

戻る | フローコピー | バージョンコピー

フローID: flow_javaee_01

フロー名: 直線ルート[JavaEE開発モデル]

基本情報 | 参照者 | コンテンツ詳細 | ルート詳細

バージョン選択

コンテンツバージョン: 2010/01/01 から 2999/12/31 まで 有効

ルートバージョン: 2010/01/01 から 2999/12/31 まで 有効

直線ルート

編集	ノード種別	ノード名	標準から変更された設定内容
	開始ノード	Start	-
	申請ノード	Apply	-
	テンプレート置換ノード	Template replacement	-
	テンプレート開始ノード	Start template replacement	-

8. 「処理設定」をクリックします。

ノード設定

閉じる

ノード名: Apply

標準設定 | **処理設定**

申請画面	<input type="radio"/> 標準から変更する	<input checked="" type="radio"/> 標準から変更しない
一時保存画面	<input type="radio"/> 標準から変更する	<input checked="" type="radio"/> 標準から変更しない
申請(起票案件)画面	<input type="radio"/> 標準から変更する	<input checked="" type="radio"/> 標準から変更しない
再申請画面	<input type="radio"/> 標準から変更する	<input checked="" type="radio"/> 標準から変更しない
アクション動作処理	<input type="radio"/> 標準から変更する	<input checked="" type="radio"/> 標準から変更しない
ノード到達処理	<input type="radio"/> 標準から変更する	<input checked="" type="radio"/> 標準から変更しない
処理依頼メール	<input type="radio"/> 標準から変更する	<input checked="" type="radio"/> 標準から変更しない
処理依頼IMBox	<input type="radio"/> 標準から変更する	<input checked="" type="radio"/> 標準から変更しない

機能設定

ファイルの添付 ☐ 追加禁止 ☐ 削除禁止

自動催促 ☐ 有効 ☒ 無効

登録

9. 処理の名称を変更する場合、すべてのロケールの処理名を入力し、「登録」をクリックします。

処理許可	処理種別	処理名
<input checked="" type="checkbox"/>	申請	<input checked="" type="radio"/> 名称を変更する <input type="radio"/> 名称を変更しない 英語 Apply 日本語 申請 中国語 (中華人民共和国) 申請
<input checked="" type="checkbox"/>	再申請	<input type="radio"/> 名称を変更する <input checked="" type="radio"/> 名称を変更しない
<input checked="" type="checkbox"/>	引戻し	<input type="radio"/> 名称を変更する <input checked="" type="radio"/> 名称を変更しない
<input checked="" type="checkbox"/>	取止め	<input type="radio"/> 名称を変更する <input checked="" type="radio"/> 名称を変更しない
<input checked="" type="checkbox"/>	起票	<input type="radio"/> 名称を変更する <input checked="" type="radio"/> 名称を変更しない

登録

ベクトルデータベースのテキスト格納先の追加

ベクトルデータベースを利用する場合、追加する言語のテキストを格納するフィールド（またはカラム）の追加が必要です。intra-mart Accel Platform が提供するベクトルデータベースでは、テキストの格納先は言語毎に定義しています。標準でサポートする日本語・英語・中国語（簡体字）の格納先は用意されていますが、新たに言語を追加した場合は、対象言語の格納先を追加する必要があります。



注意

- intra-mart Accel Platform で標準で利用可能なベクトルデータベースは Apache Solr または PostgreSQL です。
- Apache Solr をベクトルデータベースとして利用する場合は **IM-ContentsSearch** モジュール が必要です。
IM-ContentsSearch for Accel Platform を利用する場合は、Apache Solrのセットアップが必要です。Apache Solr のセットアップに関する詳細は「[Solr管理者ガイド](#)」の「[Solrのベクトル検索機能の利用](#)」を参照してください。
- PostgreSQL を利用する場合は、pgvector のインストールと拡張機能の有効化が必要です。インストール手順に関する詳細は「[intra-mart Accel Platform セットアップガイド](#)」の「[pgvector のインストール](#)」を参照してください。



コラム

ベクトルデータベースは 2024 Autumn(Jasmine) から利用可能です。

Apache Solr をベクトルデータベースとして使用する場合

ベクトルデータベースとして使用するコアのスキーマ定義に、追加する言語のテキストフィールド定義を追加する必要があります。

詳細は「[Solr管理者ガイド](#)」の「[Solrのベクトル検索機能の利用](#)」を参照してください。

PostgreSQL をベクトルデータベースとして使用する場合

ベクトルデータの格納先テーブルに、追加する言語のテキストを格納するカラムを追加する必要があります。

ベクトルデータベースとして使用するデータベース（テナントデータベースまたはシェアードデータベース）の `im_vector_data` テーブルに、以下のカラムを追加してください。

カラム名	データ型	NOT NULL 制約
text_[ロケールマスタのロケール ID (すべて小文字)]	TEXT	なし

- ロケールマスタにドイツ語（de）のロケール定義を追加した場合の例：

```
ALTER TABLE im_vector_data ADD COLUMN text_de TEXT;
```



コラム

im_vector_data テーブルは、テナントの新規作成やテナント情報の更新でベクトルデータベース接続情報を登録する際に自動で作成されます。

テナントの新規作成やテナント情報の更新については「[システム管理者操作ガイド](#)」の「[テナント管理](#)」を参照してください。

動作確認

テナント環境セットアップが正常に完了後、追加した言語が利用できるかを確認します。

追加する言語が intra-mart Accel Platform のロケールとして反映されているかの確認

1. テナント管理者 でログイン後、サイトマップより「共通マスタ」-「ユーザ」画面を開きます。
2. 画面上部の「ユーザの新規登録」をクリックし、「ユーザ詳細(新規)」を開きます。
3. 「アカウント」タブにある、ロケールのプルダウンリストに、追加した言語名 が表示されている事を確認します。



注意

→表示されていない場合、「[ロケールマスタへの定義追加](#)」を再度確認してください。

追加する言語（ロケール）に変更し各画面内のメッセージ・マスタ情報が追加した言語で表示されているかの確認

1. 動作確認用のユーザ でログイン後、ユーティリティメニュー（一般ユーザ画面右上のメニュー）の「個人設定」-「ロケール」を選択します。
2. 動作確認用のユーザ のロケールを 追加した言語 に変更します。
3. ロケール設定の変更後、メニュー、各画面上のメッセージが 追加した言語 として表示されている事を確認します。



注意

→特定の画面で表示されるメッセージが テナントのロケール【日本語・英語・中国語（簡体字）のいずれか】で表示されている場合、メッセージの洗い出し、設定等の追加漏れがある可能性があります。
「[追加する言語資材の洗い出し](#)」を再度確認してください。

付録

モジュールプロジェクト（サンプル）の利用

ダウンロード

intra-mart Accel Platform 2013 Winter版（※1）を対象にした 新たな言語を追加するユーザモジュール を作成するサンプルのプロジェクトです。

このサンプルは、フランス語を想定したプロジェクトです。（※2）。

モジュールプロジェクト（サンプル）



注意

（※1） IM-Juggling でプロジェクトを作成後、初期状態で対象となっているモジュールを対象にしています。



注意

（※2） 実際の翻訳は行われていません。

日本語ロケールで各メッセージの頭に「フランス語」か「FR」が付加されています。

次のファイルは、日本語ロケールのものと同等です。

- ・ ui/js/i18n/imui-fr.js、imui-fr.min.js
- ・ smart/js/i18n/smart-fr.js、smart-fr.min.js

プラグインファイルなど一部のファイルで翻訳されていないものが存在します。

インポート

ダウンロードしたアーカイブファイルを、e Builderのプロジェクトとして登録するためのインポート方法です。

1. e Builder上のエクスプローラー・ビューにフォーカスをあて右クリックし、「インポート」を選択してインポートダイアログを表示します。



コラム

エクスプローラー・ビューとはプロジェクトを表示するビューのことを指し、開いているビューの種類によってインポートの選択の仕方が異なります。

よく使用されるエクスプローラー・ビュー3つのインポートのダイアログ画面の表示までの操作方法です。

- ・ パッケージ・エクスプローラー：右クリック→「インポート」
- ・ プロジェクト・エクスプローラー：右クリック→「インポート」→「インポート」
- ・ ナビゲーター：右クリック→「インポート」

2. 「インポート・ソースの選択」において、ツリー・ビューより「General」→「既存プロジェクトをワークスペースへ」を選択し、「次へ」ボタンを押下します。
3. 「アーカイブ・ファイルの選択」のラジオボタンをONにし、「参照」ボタンよりダウンロードした「sample_user-module.zip」を選択します。
4. プロジェクトのビューに表示される「sample(sample)」のチェックをONにし、終了ボタンを押下します。



注意

この時に同名の「sample」プロジェクトがワークスペース上に存在していた場合、インポートできません。

5. インポートが実行され、「sample」プロジェクトがエクスプローラー・ビューに表示されます。